高圧力型　電気温水器

（小型温水ボイラー）

ユノエース

追いだきフルオートタイプ
取扱説明書

8時間通電制御/時間帯別電灯型

高圧力型　BL 認定品

SBT-373KMZH
SBT-463KMZH
SBT-563KMZH

● このたびはユノエース電気温水器をお買い上げいただきありがとうございます。本品の機能を十分発揮させて効果的にご利用いただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分理解してください。

● お読みになった後は、いつでも取出せるよう大切に保管してください。

BL認定品について

本製品は、全てBL認定品です。
BL 認定品は財団法人「ベターリビング」より優れた住宅設備として認定を受けたものです。

高圧力型について

【高圧力型】は、労働安全衛生法施行令に定める小型ボイラーに該当します。

事業者の方が、事務所、店舗などで使用される場合は、法令の定めにより義務づけられる事項があります。
必ず販売店にお問い合わせください。

もくじ

ご使用のまえに…

安全上のご注意……1
使用上のご注意……5
電気温水器のはなし……6

各部の名称とはたらき

各部のなまえ(リモコン)……7
各部のなまえ(本体)……11

使用方法

さっそく使ってみましょう……12
時刻や日付を合わせる……13
タンクの設定をする……15
「沸き増し」の設定……17
給湯温度を設定する……20
混合栓のおはなし……22
おふろの使い方……23
おふろの設定……25
ふろ湯張り(ふろ自動運転)のしかた……26
入浴中にできること……28
半身浴をする……30
ふろ湯張り予約のしかた……31
インターホンを使う……32
音声ガイドモード・音量を設定する……33
残りの湯量を知りたいとき……34
過去の使用パターンを知りたいとき……34
画面がみづらいときの調整……35

こんなとき

数日間お湯を使わないとき……36
非常用水として使用する……38
凍結防止について……39
日常のお手入れと点検……40
タンクの排水のしかた……43
タンクの給水のしかた……44
停電のとき……45
断水のとき……45
こんなときは故障ではありません……46
点検表示のみかたと処置……47
故障かなと思ったら……47
仕様……49
保証とアフターサービス

四変テック株式会社

Z142220T

安全上のご注意　　必ずお守りください

ここに示した注意事項は、電気温水器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害と損害を未然に防ぐために必要な重要事項です。
記載内容をよく理解し必ずお守りいただいて電気温水器を正しく安全にご使用ください。

取扱いを誤った場合に生じる危険とその程度の区分

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。

本文中に使われる図記号の意味

⃠	禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
●	指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△	注意を示します。 付帯的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

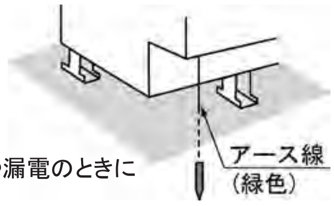
据付け後の確認

工事が適正に完了しているか、お買い上げの販売店、工事店の方とご一緒に確認してください。

⚠警告

アース工事を確認する

アース工事



- アースがされていないと、故障や漏電のときに感電することがあります。

⚠注意

水道水を使用する

確認

必ず、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。

井戸水、温泉水、純水、イオン交換水は使用しないでください。タンクや配管の腐食の原因になります。

防水処理・排水処理されていない床面には設置しない

禁止

処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながることがあります。

給水器具の仕様を確認する

確認

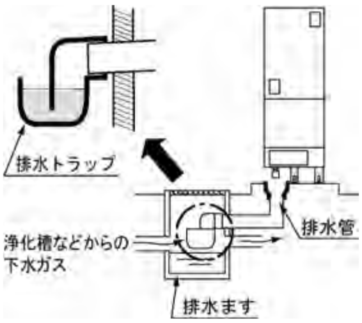
単水栓　シングルレバー　サーモスタット付

- 給水器具は、必ず逆止弁付を使用してください。
- シャワー用は、必ずサーモスタット式の逆止弁付湯水混合栓を使用してください。

排水トラップを設置する

確認

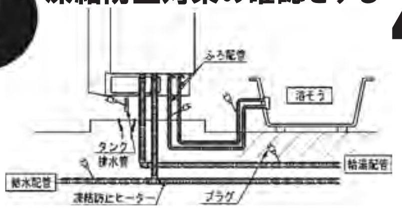
排水トラップがないと、浄化槽などから下水ガスが逆流して、温水器が著しく腐食し、故障の原因になります。



凍結防止対策の確認をする

P39

確認

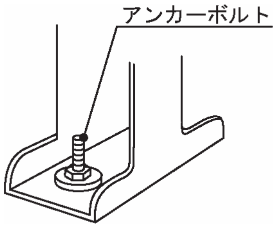


- 凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。

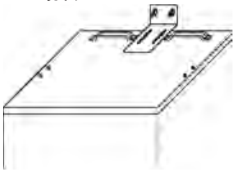
脚(3か所)がアンカーボルトで固定されているか確認する

確認

- 固定されていないと、地震などにより本体が倒れてけがをすることがあります。
- 温水器を 2 階以上に据付けた場合は、本体上部も固定されているか確認してください。



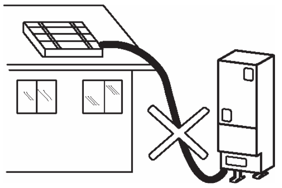
2 階以上に据付けた場合



太陽熱温水器のお湯を給水管につながない

禁止

・太陽熱温水器との接続はできません。故障の原因になります。



安全にお使いいただくために　必ずお守りください

⚠警告

給湯温度の変更は、他の混合栓の使用状況を確認してから行う

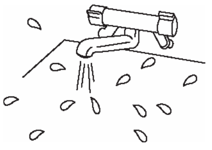
P20

- やけどをすることがあります。
- シャワーを使用するときは、「浴室優先」にしてください。

お湯の使いはじめに注意する

やけど注意

- 朝の使いはじめは、空気の混ざったお湯が飛び散ることがあります。



入浴時は、湯温を指先などで確認する。

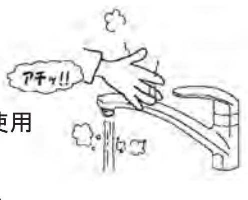
やけど注意

- 湯温を確認しないと、やけどをすることがあります。

給湯時は湯水混合栓に手を触れない。

やけど注意

- 高温の湯の使用時および使用直後は、湯水混合栓が熱くなっています。
やけどにご注意してください。



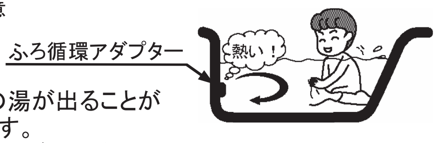
シャワーや台所・洗面所でお湯を使う時は、湯温を指先などで確認する

やけど注意

- 湯温を確認しないと、やけどをすることがあります。
- シャワー給湯には、必ずサーモスタット式の湯水混合栓をご使用ください。

入浴時は、ふろ循環アダプターから離れる。 P26 P28

やけど注意



- 高温の湯が出ることがあります。
  やけどにご注意ください。

浴そうに髪をつけない
入浴中もぐらない

禁止

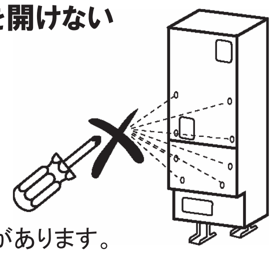
- ふろ循環アダプターに髪の毛を吸い込まれるおそれがあります。

異常（こげ臭いなど）時は、漏電遮断器の電源スイッチを「切」にし、販売店に連絡する P 11

異常のまま使用すると、故障や感電、火災の原因になります。

前面カバーを開けない

分解禁止



- 開けると、感電することがあります。

漏電遮断器（2 か所）の動作を確認する P40

動作確認

- 故障のまま使用すると、感電することがあります。

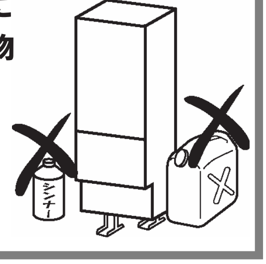
分解・修理・改造を行わない

分解禁止

- 発火や、異常動作の原因になることがあります。

温水器の近くにガス類や引火物を置かない

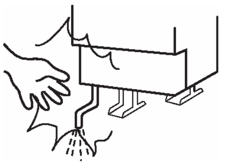
禁止



- 発火や火災になることがあります。

タンクの排水時は、お湯に手を触れない P43

やけど注意



- 熱湯が出てやけどをすることがあります。

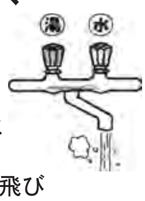
タンクの湯は、熱湯のまま排水しない P43

やけど注意

- 熱湯のまま排水すると、やけどをしたり、排水管などが破損することがあります。必ずタンク内を水にしてから排水してください。

湯水混合栓は水から開く

やけど注意



- まず水栓を開いてから、湯栓を徐々に開いて適温にしてください。
  湯栓だけを開くと高温の湯が出たり、飛び散ったりする場合があり非常に危険です。

逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない P41

やけど注意

- やけどをすることがあります。

⚠注意

非常用水取水時は、指先などで湯温を確かめる
P38

やけど注意

取水ホースから熱湯が出る場合があります。
やけどしないよう注意してください。

1か月以上使用しないときは、タンクの湯を排水する
P43

電源確認

- 排水しないと水質が変化することがあります。
- 排水しないとタンクや配管が凍結し故障の原因になることがあります。

積雪時には除雪をする

- 温水器の周囲に積雪すると、誤作動や故障の原因になります。

温水器に乗ったり、物を載せたり、配管に力を加えたりしない

禁止

- 事故・やけどの原因になります。

そのまま飲用しない

禁止

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず沸騰させてください。

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 熱いお湯がでてくるまでの水（配管にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、販売店へ点検を依頼してください。

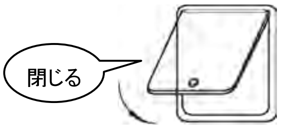
断水時は、温水器専用止水栓を閉める
P45

- 閉めないと、再度送水されたときににごった水がタンク内に入るおそれがあります。

冬期、電源スイッチを「切」にする場合は、タンクと配管の水抜きをする
P43

タンクが満水のまま電源スイッチを「切」にすると、配管が凍結し、水漏れや故障の原因になります。

操作カバーは閉じる
P 11



- 開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

ふろ循環アダプターをふさがない

禁止

・やけどの原因になります。
・故障や水漏れの原因になることがあります。

湯はり中に、入浴しない。

やけど注意

- 湯はり中は、高温の湯がふろ循環アダプターから出る場合があります。

⚠注意

機器を満水にしてから電源を入れる

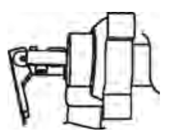
満水確認

- タンクに水がない状態で電源を入れると、ヒーターが過熱して故障の原因になります。

逃し弁の点検をする

P41

点検



- 点検しないとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

使用上のご注意

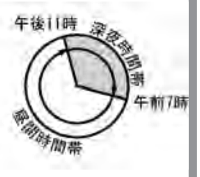
契約している電力制度を確認する

契約している電力制度によってご利用いただけない機能があります。

P14

深夜時間帯のご使用について

温水器は、深夜時間帯にお湯を沸かすのが基本です。この時間帯にお湯を使うと、昼間に沸き増しを行い電気代が高くなる場合があります。



深夜時間帯は,地域や契約内容によって異なります。

P14

お湯を上手に使う

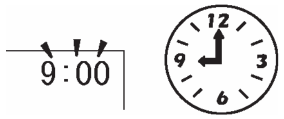
1日に使用できるお湯の量は限りがあります。
お湯の使いすぎに注意してください。
流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。

- シャワーは止めながら
（髪を洗っているときは止めましょう）
- 洗いものをするときも止めながら

リモコンの時刻を確認する

月に1度は台所リモコンの時刻を確認、修正してください。

P13



時刻がずれていると、お湯を沸き上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金が割高になります。

入浴剤を使うときのご注意

イオウ、酸、アルカリを含んだ入浴剤は使用しないでください。入浴剤の注意書きをよく読んでご使用ください。また、温泉のお湯は使用しないでください。

- 本体や配管が故障し、水漏れすることがあります。

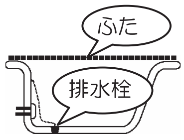
ふろ湯はり中の給湯

- ふろ湯はり中にシャワー、蛇口を使用しますと、シャワーや蛇口の湯温や湯量が変動することがあります。
- ふろ湯はり中にシャワー、蛇口を使用しますと、湯はり時間が長くなることがあります。
- 残湯量が少ない時は、給湯を優先して湯はりを一時中断します。

湯はりをするときのお願い

湯はりをするときは、

- 浴そうの排水栓を閉める
- 浴そうのふたをする



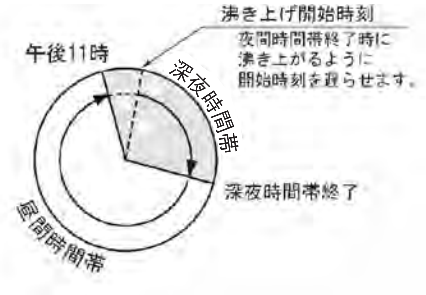
残り湯があっても湯はりできます。
「ふろ予約」を行うときも同様です。

P31

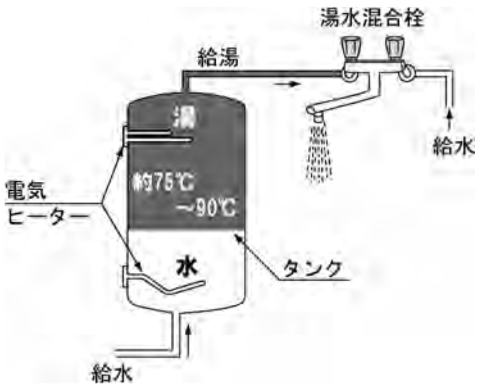
電気温水器のはなし

■電気温水器の仕組み

電気温水器は、タンクに貯えた水を電気代のお得な深夜電力を利用して沸き上げ、台所や洗面所、おふろなどでお湯が使えるようにする機器です。
お湯は、タンク内に内蔵した電気ヒーターで沸き上げます。



深夜電力を利用して快適にお使いいただくために、各地域の電力会社と「時間帯別契約」などの電力契約を結んでください。契約の種類、深夜時間帯の範囲は各電力会社により異なります。



1 湯水混合栓を開いてお湯を使うと、使った分だけ自動的にタンクの下から給水します。朝はお湯で一杯だったタンクは、お湯を使うたびに水の部分が増えていきます。

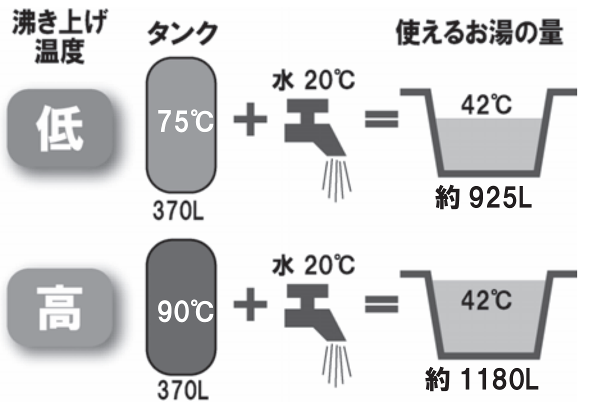
2 お湯として使える量は、給湯やおふろの湯はりに使うほか、放熱などにより徐々に少なくなってきます。お湯として使える量(**残湯量**)のめやすをリモコンに表示しています。残湯量がなくなることを『**湯切れする**』といいます。

3 タンクのお湯は、そのままでは熱いので水と混ぜて使います。ですから実際に使えるお湯の量は、およそのめやすとしてタンク容量の２倍くらいになります。
（沸き上げの温度や水道水の温度によって実際に使える湯量は異なります）

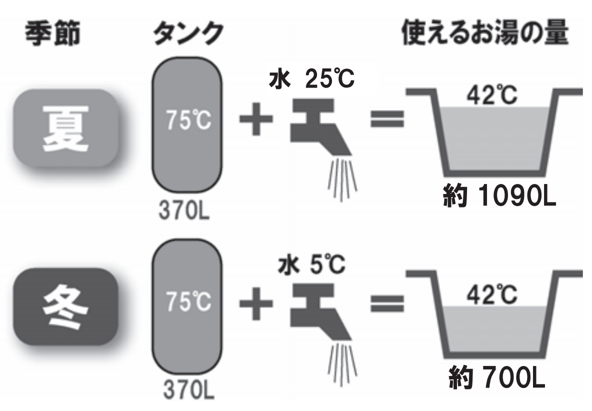
■使えるお湯の量は？

Point！ **使えるお湯の量は、沸き上げ温度や季節によって異なります。**

1. タンクの沸き上げ温度で使える湯量が変わります。



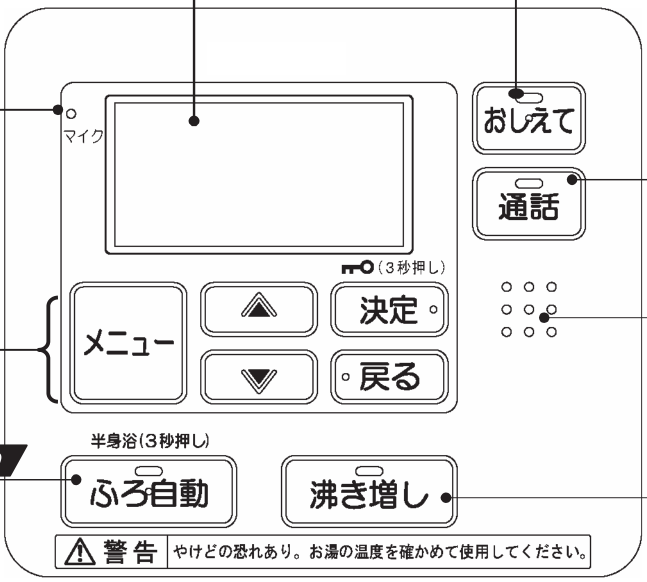
2. 季節によっても使えるお湯の量が変わります。



※「使えるお湯の量」はめやすです。時間経過とともにタンクの温度は低下しますので、実際に使える湯量は計算値より少なくなります。

各部のなまえ(リモコン)

■ 台所リモコン



表示画面 P 8

● **おしえて**ボタン
ランプが点灯しているときに押すと設定の内容などをおしらせします。

マイク

● **通話**ボタン P32
ふろリモコンと会話ができます。

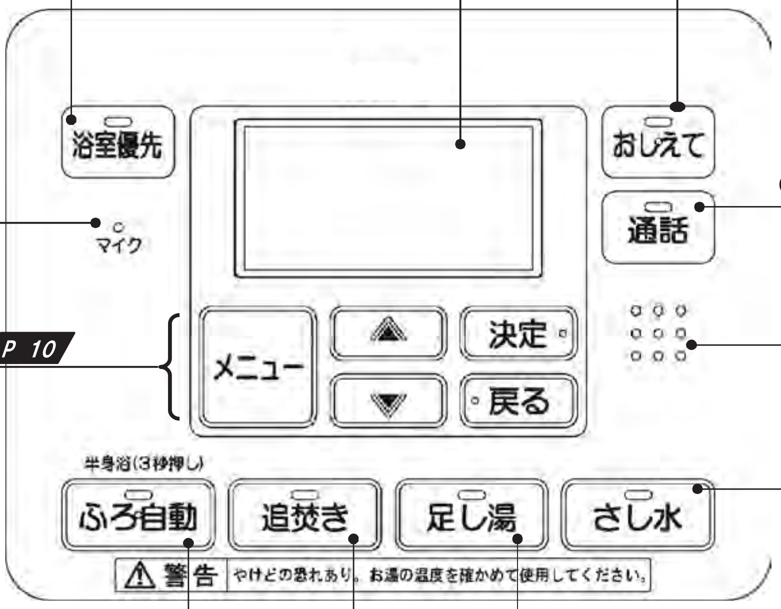
● **メニュー操作ボタン** P9
メニューの選択や、温度/時刻などの数値を設定します。

スピーカー

● **ふろ自動**ボタン P26 / P30
通常：
おふろの湯張りを行います。
３秒押し：
半身浴モードで湯張りを行います。

● **沸き増し**ボタン P17
お湯が足りなくなったときに押すと、すぐにお湯を沸かし始めます。

■ ふろリモコン



● **浴室優先**ボタン P20
台所リモコンで給湯温度の変更ができないようにします。

表示画面 P 8

● **おしえて**ボタン
ランプが点灯中にボタンを押すと設定の内容などをおしらせします。

マイク

● **通話**ボタン P32
台所リモコンと会話ができます。

スピーカー

● **メニュー操作**ボタン P 10
メニューの選択や、温度/時刻などの数値を設定します。

● **さし水**ボタン P29
おふろに水を約 15L 足して温度を下げます。

● **ふろ自動**ボタン P26 / P30
通常：おふろの湯張りを行います。
３秒押し：半身浴モードで湯張りを行います。

● **足し湯**ボタン P29
湯はり温度のお湯を約 20L 足してお湯の量を増やします。

● **追焚き**ボタン P28
おふろの温度を高くします。

■ 表示画面（表示は、標準画面例です。状況により、表示内容は異なります。

標準画面は、台所リモコン、ふろリモコン共通です。

表示画面は、ボタン操作後約３０秒経過すると自動的に暗くなります。いずれかのボタンを押すと明るくなります。

■ 湯切防止設定表示 P15

「湯切防止」設定中に表示

■ チャイルドロック設定表示 P21

ふろリモコンの操作を制限しているとき表示

■ 沸上げ温度設定表示 P15

■ 残湯量表示 P19

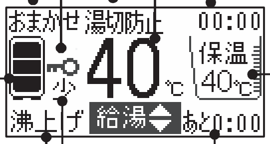
お湯（約 45℃以上）の量を表示します。お湯が 75L 以下になると表示が消えます。

■ 沸き上げ中表示 P18

沸き上げ中に表示します。

■ 沸き増し設定表示 P18

「沸き増し」設定中に「少」（少量）または「全」（全量）を表示



■ 給湯温度設定表示 P20

台所、洗面所、シャワーなどの給湯設定温度を表示します。

■ 時刻表示 P13

通常は現在時刻を表示します。
点検が必要になったときは、点検記号を表示します。

■ ふろ設定表示 P26

おふろの設定値や状態を表示します。

■ ふろ運転表示 P26 P28 P30

現在動作中のふろ運転を表示します。

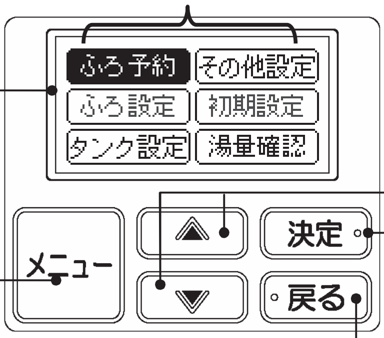
湯張り	：ふろ湯張り時
あと***	：ふろ自動運転の残り時間を表示
追焚き	：追焚き時
足し湯	：足し湯時
さし水	：さし水時

■ 凍結防止表示 P39

凍結防止　：ふろ配管凍結防止運転時

■ メニュー操作のしかた：台所リモコン

メニュー項目：反転表示の項目が選択されています。



■ メニュー画面

【メニュー】ボタンを押すと表示します

● メニューボタン

・メニューを表示します
・メニュー操作時やメッセージ表示時に押すと標準画面に戻ります。

●選択（▲、▼）ボタン

・メニューや選択項目を選択します。
・温度、時刻など数字を設定します。

● 決定ボタン

選択や数値を確定します。

● 戻るボタン

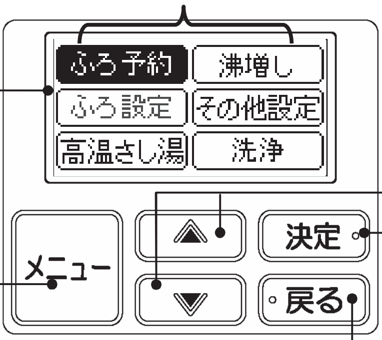
ひとつ前の画面に戻ります。

● メニュー内容：台所リモコン

	メニュー項目		メニュー詳細		概　　要	頁
1	ふろ予約	▲、▼ボタンで選択	ふろ予約		おふろの湯張り完了時刻を設定、予約します。	P31
2	ふろ設定		①湯張り温度設定	決定 戻る	湯張り温度を設定します。	P25
			②湯張り水位設定		湯張り水位を3cm刻みで設定します。	
			③保温時間設定		自動で保温、足し湯をして、設定温度・水位を保持する時間を設定します。	
			④自動機能		保温(自動)時間中、「保温のみ」または「保温・水位」のいずれを保持するかを設定します。	
3	タンク設定		①湯量設定	決定 戻る	おもに深夜時間帯にタンクで沸き上げるお湯の量を設定します。	P15
			②湯切防止設定		タンクのお湯が少なくなってきたら自動で沸き増しをする・しないを設定します	
4	その他設定		①音声ガイド	決定 戻る	音声ガイドのモードを選択します。	P33
			②ガイド・ブザー音量		音声ガイド、ブザーの音量を設定します。	
			③通話音量		通話時の音量を設定します。	
			④タンク休止		タンクの沸き上げを休止する日にちを設定します。	P36
5	初期設定		①現在時刻合わせ	決定 戻る	現在時刻を合わせます。	P13
			②現在日付合わせ		現在日付を合わせます。	
			③電力契約		契約されている電力の種類を設定します。	
			④湯切れ防止詳細		「湯切防止」を動作させない時間帯を設定します。	P16
6	湯量確認		①残湯量(本日)	決定 戻る	今日、あとどれくらいお湯が使えるかの目安を表示します。	P34
			②使用湯量(週間)		1週間のお湯の使用量の変化を表示します。	

■ メニュー操作のしかた：ふろリモコン

メニュー項目：反転表示の項目が選択されています。



■ メニュー画面

【メニュー】ボタンを押すと表示します

● メニューボタン

・メニューを表示します

・メニュー操作時やメッセージ表示時に押すと標準画面に戻ります。

●選択（▲、▼）ボタン

・メニューや選択項目を選択します。

・温度、時刻など数字を設定します。

● 決定ボタン

選択や数値を確定します。

● 戻るボタン

ひとつ前の画面に戻ります。

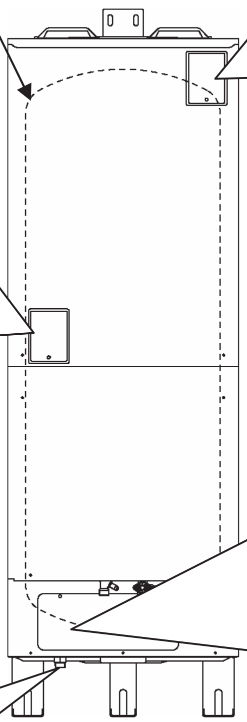
● メニュー内容：ふろリモコン

	メニュー項目		メニュー詳細		概要	頁
1	ふろ予約	▲、▼ボタンで選択	ふろ予約		おふろの湯張り完了時刻を設定、予約します。	P31
2	ふろ設定		①湯張り温度設定	決定 戻る	湯張り温度を設定します。	P25
			②湯張り水位設定		湯張り水位を3cm 刻みで設定します。	
			③保温時間設定		自動で保温、足し湯をして、設定温度・水位を保持する時間を設定します。	
			④自動機能		保温(自動)時間中、「保温のみ」または「保温・水位」のいずれを保持するかを設定します。	
3	高温さし湯		高温さし湯		「高温さし湯」を開始/中止します。	P29
4	沸増し		沸増し		タンクの沸き増しを開始/中止します。	P17
5	その他設定		①音声ガイド	決定 戻る	音声ガイドの仕方、有無を選択します。	P33
			②ガイド・ブザー音量		音声ガイド、ブザーの音量を設定します。	
			③通話音量		通話時の音量を設定します。	
6	洗浄		洗浄		ふろ配管の洗浄を開始/中止します。	P42

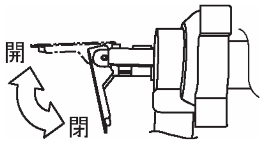
お知らせ

● ふろリモコンの外カバーとふろリモコン本体の間に水滴が入った場合、ふろリモコンのランプ点灯部位に水滴が見えることがありますが、ふろリモコン本体は防水してあるため、使用上問題はありません。

各部のなまえ（本体）

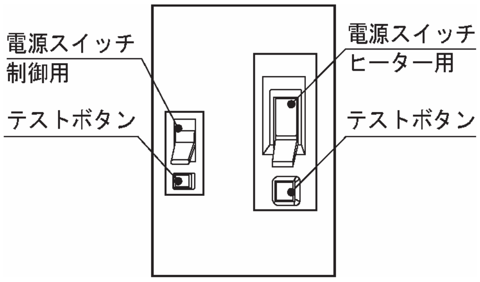


逃し弁 操作カバー



通常は「閉」にしておきます。タンク沸き上げ時は、逃し弁からの膨張水をタンク排水管より排出し、タンク内を一定圧力以下にします。

漏電遮断器 操作カバー

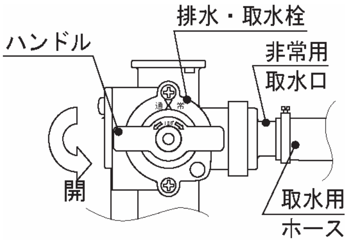


電源スイッチ：電源を「入」「切」します。
テストボタン：漏電遮断器が正常に動作するか確認します。

排水栓 操作カバー

タンクのお湯を排水するときに使用します。
また、非常用の取水口として使用できます。

P38 P43



図は「閉」を示します。
タンクのお湯を排水するときはハンドルを左に 90 度回して「開」にします。

排水口

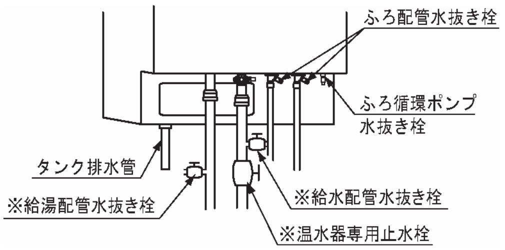
この部分にタンク排水管が接続され排水溝につながっています。沸き上げ中には、少量のお湯を排水します。また、タンクのお湯を排水するときもこの排水口から排水します。

■止水栓、水抜き栓の位置

機種によって、ふろ配管水抜き栓、ふろ循環ポンプ水抜き栓の位置が異なります。
また、温水器専用止水栓、給湯・給水配管水抜き栓の取り付け位置やタンク排水管の長さ・形状は、据付状況により異なります。詳しくは、据付工事店にお問合せください。

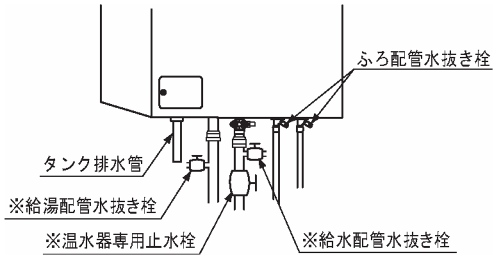
Aタイプ

型式 SBT-373KMZH
SBT-463KMZH



Bタイプ

型式 SBT-563KMZH



本取扱説明書では、主にＡタイプの挿絵を使用して説明しています。
※部は現地施工の止水栓、水抜き栓です。

さっそく使ってみましょう

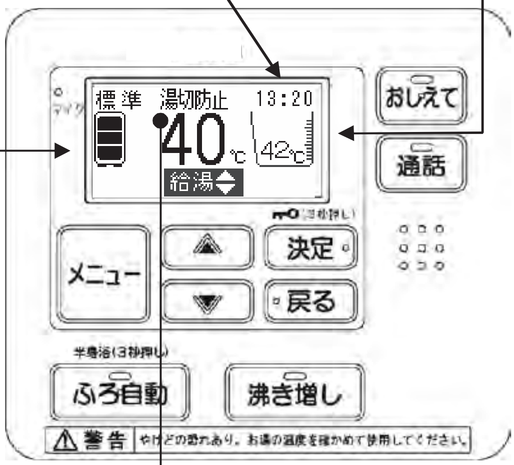
まず、台所リモコンの表示画面を確認してください

Q1:表示画面は点灯していますか？

YES → Q2

NO ↓

使用の準備ができていない場合があります。お買い上げの販売店に下記を確認してください。
1．タンクは満水か？
2．試運転は済んでいるか？
3．電源を入れれば使用できるか？



Q2:時刻は合っていますか？

NO ↓

「初期設定」を行ってください。 P13

YES ↓

Q3:残湯量の表示はでていますか？ P19

現在の使えるお湯の量や温度のめやすを点灯、点滅の 7 段階で表示しています。

NO ↓ 残湯量が全部点灯していない場合

Q4:「湯切防止」が設定されていますか？

設定されていれば、お湯が減ってくると自動で沸き増しします。 P15

おふろやシャワーなどお湯をたくさん使う予定がある日は、「沸き増し」を実施することをおすすめします。 P17

NO ↓

必要に応じて「沸き増し」を実施してください。 P17

YES ↓

温水器を使う準備ができています。
必要に応じて、「タンク設定」を行ってください。 P15

給湯やおふろの設定を行ってください。 P20 P25

音声ガイドについて

音声ガイドは、「しんせつ」、「標準」、「切」の３つのモードがあります。
本説明書では、「しんせつ」モードで説明しています。モードにより音声ガイドの内容が異なります。

P33

時刻や日付を合わせる

現在時刻、日付と電力契約の種類を設定します

・現在時刻が合っていないと、電気料金が割高になることがあります。月に一度は時刻の確認をしてください。
・電力契約の種類によって、深夜時間帯や料金のお得な時間帯が異なります。
電気料金制度を上手に利用するため、必ずご契約されている電力契約モード(次頁参照)を設定してください。(契約内容は、電気料金領収書に記載の最寄の営業所にお問い合わせください。)

※下記は、現在時刻 10 時 30 分、現在日付 2007 年５月 10 日、電力契約 02 に設定した例です。

設定内容 設定手順	画面表示	操　　作	音声ガイド (しんせつ)
—	ふろ予約 / その他設定 ふろ設定 / 初期設定 タンク設定 / 湯量確認	メニューボタンを押してメニューを表示させます。 ①【▲、▼】ボタンを押して「初期設定」を選択します。 ②【決定】ボタンを押します。	初期設定です。
現在時刻の設定	初期設定 1/13 現在時刻合わせ しない　する ⬍で選択し、[決定]を	①【▲、▼】ボタンを押して「する」を選択します。 ②【決定】ボタンを押します。 ※「しない」を決定すると日付設定に進みます。	時刻合わせです。
	初期設定 2/13 現在時刻 10:30 ⬍で時を設定し、[決定	①【▲、▼】ボタンを押して、「時」を合わせます ②【決定】ボタンを押します。 ③同様に「分」を合わせ、【決定】ボタンを押します。	—
	初期設定 4/13 現在時刻 10:30 上記時刻で設定しまし	現在時刻確認画面が表示されます。間違いがなければ【決定】ボタンを、修正したい場合は【戻る】ボタンを押します。	時刻設定しました。
現在日付の設定	初期設定 5/13 現在日付合わせ しない　する ⬍で選択し、[決定]を	①【▲、▼】ボタンを押して「する」を選択します。 ②【決定】ボタンを押します。 ※「しない」を決定すると電力契約設定に進みます。	日付合わせです。
	初期設定 6/13 日付 2007年 5月10日 ⬍で年を設定し、[決定	①【▲、▼】ボタンを押して、「年」を合わせます ②【決定】ボタンを押します。 ③同様に「月」、「日」を合わせます。	—
	初期設定 9/13 日付 2007年 5月10日 上記日付で設定しまし	現在日付確認画面が表示されます。間違いがなければ【決定】ボタンを、修正したい場合は【戻る】ボタンを押します。	日付設定しました。
電力契約	初期設定 10/13 電力契約変更 しない　する ⬍で選択し、[決定]を	①【▲、▼】ボタンを押して「する」を選択します。 ※「深夜電力」の契約をされているお客様は設定不用です。「しない」を選択後、【決定】ボタンを２回押して設定を完了してください。	—
	初期設定 11/13 電力契約 02 取扱説明書を見て⬍で	①【▲、▼】ボタンを押して、「電力契約」番号を選択します。「電力契約」番号については次頁を参照してください。 ②【決定】ボタンを押します。	電力契約設定です。取扱説明書をご覧ください。
タンク湯切防止詳細	初期設定 12/13 タンク湯切防止詳細 作動しない時間 00 取扱説明書を見て⬍で	【決定】ボタンを押して設定を完了します。 ※本画面はタンク湯切防止詳細を設定します。 P16	タンク湯切防止設定です。 取扱説明書をご覧ください。
完了	初期設定 13/13 設定完了	設定完了のメッセージが表示されます。メニューボタンを押すか約１０秒経過すると標準画面に戻ります。	設定しました。

※四国電力管内でご使用の場合は、電力契約を【００】に設定してください。その他の地域の場合は、次項を参照ください。

■ お知らせ

・時刻は 24 時間表示です。昼の 12 時は、12：00、夜の 12 時は、0：00 を表示します。
・時刻は、気温の変化や停電などにより若干変化します。時刻がずれている場合は修正してください。

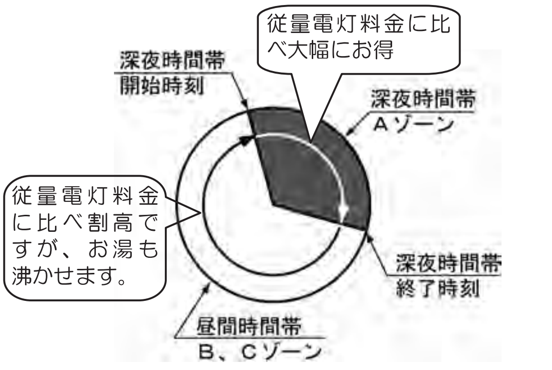
■ 電力契約番号と時間帯概要 (2008 年 1 月現在)

・契約している電力制度の内容は、各電力会社にお問合せください。
・A ゾーン、B ゾーン、C ゾーンの用語は説明のために付加したもので、各電力会社の定める用語ではありません。

■ 電力契約について

本製品のご使用にあたって、あらかじめ電力会社と時間帯別電灯契約または深夜電力契約を結んでください。契約方法、内容については各電力会社お問い合わせください。

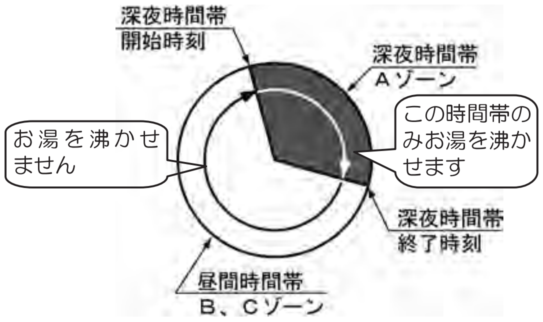
時間帯別電灯契約



ご家庭で使用するすべての電力を上図のように２つの時間帯に分けて電力料金を算出します。昼間時間帯にもお湯を沸かすことができるので、たくさんお湯を使用されるご家庭でも安心してお湯を使用できます。また、食洗機や洗濯機などの家電機器を割安な深夜時間帯に利用するとさらに経済的です。

深夜電力契約＋従量電灯契約

(8 時間通電制御型)



深夜時間帯のみ、お湯を沸かします。お湯を沸かすための電気代は、深夜電力を利用するのでたいへんお得になります。家電機器使用の電気代は、深夜時間帯/昼間時間帯にかかわらず従量電灯料金が適用されます。
「沸き増し」、「湯切防止」の機能は深夜時間帯のみ使用できます。

・料金のめやすや時間帯は電力会社によって異なります。

タンクの設定をする

台所リモコン

沸き上げ温度（タンクに貯えるお湯の温度）**と沸かしかたを設定します**

深夜時間帯に沸かすお湯の温度と、おもに昼間時間帯に、お湯が少なくなってきたときに自動で沸き増しする〔湯切防止〕について設定します。お買い上げ時は、沸き上げ温度は「標準」、湯切防止は「入」に設定されています。

■深夜時間帯に沸き上げる温度「沸き上げ温度」の概要

湯量	沸き上げ温度	概　　要
おまかせ	約 75℃～90℃	お湯の使用状況に応じて沸き上げ温度を自動設定します。 設定すると、毎日のお湯の使用量を確認するため、最初の 1 週間は約 90℃で沸き上げます。
標準	約 90℃	高温で沸き上げるのでお湯がたくさん使えます。
控えめ	約 75℃	夏期などお湯の使用量が少ない場合に適します。 (来客などお湯をたくさん使用する予定がある場合は、湯切防止のため、前日に「標準」に設定してください。)

- 設定温度は沸き上げ完了直後のタンク内温度の目安です。時間の経過とともに少しずつ低下します。
- 厳寒期や残湯量が少ないとき、深夜時間帯の沸き上げで設定温度まで沸き上がらない場合があります。また、深夜時間帯にお湯をたくさん使った場合も設定温度まで沸き上がらないことがあります。
- 追焚きを多く使う場合は、「標準」に設定してください。「おまかせ」「控えめ」の場合、追焚ができなくなる場合があります。

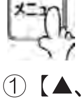
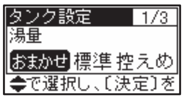
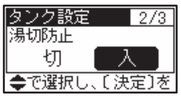
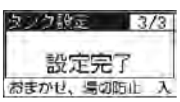
■おもに昼間時間帯に自動で沸き増しをする「湯切防止」の概要

湯切防止	タンク内のお湯のイメージ		概　　要
	沸き増し前	沸き増し後	
切	―	―	お湯が少なくなっても沸き増しをしません。
入			お湯が少なくなると「沸き上げ温度」で約 100L 沸き増しします。時間帯別電灯契約を結ばれているお客様は、この設定をされることをおすすめします。**「切」に設定するまで毎日継続します**。深夜電力契約の場合は、「入」に設定すると深夜時間帯のみお湯が少なくなると沸き増しを行います。

- 〔湯切防止〕は、おもに昼間時間帯に沸き増しをするため、電気料金が割高になります。

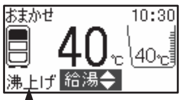
■タンク設定/湯切防止の設定

※下記は、タンク湯量設定「おまかせ」、タンク湯切防止設定「入」に設定した例です。

設定内容 設定手順	画面表示順番	操　　作	音声ガイド （しんせつ）
―		 メニューボタンを押して、メニューを表示させます。 ①【▲、▼】ボタンを押して「タンク設定」を選択します。 ②【決定】ボタンを押します。	タンク設定です。
沸き上げ 温度		①【▲、▼】ボタンを押して「おまかせ」を選択します。 ②【決定】ボタンを押します。	タンク湯量設定 おまかせです。
湯切防止 入切		①【▲、▼】ボタンを押して「入」を選択します。 ②【決定】ボタンを押します。	タンク湯切防止「入」です。
完了		設定完了のメッセージが表示されます。下部に設定内容を表示します。メニューボタンを押すか約１０秒経過すると標準画面に戻ります。	タンク湯量設定おまかせ、タンク湯切れ防止「入」に設定しました。

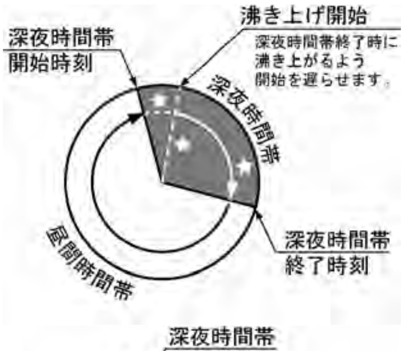
■沸き上げ中は・・・

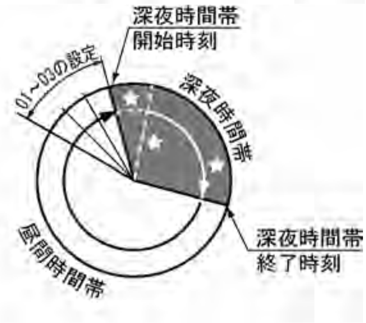
深夜時間帯の沸き上げや「湯切防止」による沸き増しを行っているとき（電気ヒーターに通電しているとき）各リモコンに「沸上げ」を表示します。



沸き上げ、沸き増し中点灯。

■湯切防止詳細設定



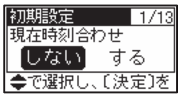
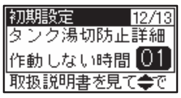
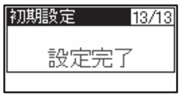


電気温水器は、タンクに貯えるお湯を電気料金のお得な深夜時間帯に沸き上げるのが基本です。深夜時間帯開始とともに沸き上げを開始すると早く沸き上がってしまうので、深夜時間帯終了時刻に沸き上がるよう沸き上げの開始を遅らせています。このことをピークシフトといいます。

「湯切防止」を「入」にしておくと、お湯が少なくなると電気代の高い時間帯でも沸き増しを開始します。

毎日、深夜時間帯開始前にあまりお湯を使わない場合は、設定により深夜時間帯開始前の１～３時間は湯切防止の作動を待機させることができます。割高な時間帯にお湯を沸かさずにすみ経済的です。

■湯切防止作動しない時間帯の設定方法

設定内容 設定手順	画面表示	操　　作	音声ガイド （しんせつ）
―		メニューボタンを押して、メニューを表示させます。 ①【▲、▼】ボタンを押して「初期設定」を選択します。 ②【決定】ボタンを押します。	初期設定です。
タンク湯切防止詳細設定		①【決定】ボタンを３回押して、「タンク湯切防止詳細」を表示させます。	―
		①【▲、▼】ボタンを押して「作動しない時間帯」を 00～03 の範囲で設定します。 00：常時、お湯が少なくなると沸き増しを行います。 01：深夜時間帯開始までの１時間は沸き増しを行いません。 02：深夜時間帯開始までの２時間は沸き増しを行いません。 03：深夜時間帯開始までの３時間は沸き増しを行いません。 ②【決定】ボタンを押します。	タンク湯切防止設定です。 取扱説明書をご覧ください。
完了		設定完了のメッセージが表示されます。約 10 秒後に通常画面に戻ります。	設定しました。

・上記は、作動しない時間「01」に設定した例です。深夜時間帯の開始時刻が 23:00 の場合、22:00～23：００の間はお湯が少なくなっても沸き増しを行いません。

「沸き増し」の設定

こんなとき

今日はたくさんお湯を使いたい

来客などでたくさんのお湯を使うとき「沸き増し」設定をします。**設定したその日は**お湯が減ってきたらそのつどお湯を沸き上げて湯が足りなくなるのを防ぎます。

- おもに昼間の電気を使用しますので電気料金が割高になります。

■「沸き増し」の概要

沸き増し	タンク内のお湯のイメージ		電力契約		概　　要
	沸き増し前	沸き増し後	時間帯別	深夜	
切	—	—	○	○	お湯が少なくなっても沸き増しをしません。「少量」、「全量」を設定していた場合は、設定を解除します。
少量			○	○	お湯が少なくなると「沸き上げ温度」で約100L 沸き増しします。
全量			○	×	お湯を使うと、タンク全体を「沸き上げ温度」で沸き増しします。「全量」の設定は、深夜時間帯は無駄なお湯を沸かさないように「少量」に切り替わります。

「沸き増し」の設定は、設定した翌日の昼間時間帯開始時に自動的に「切」に切り替わります。

1　設定方法

沸き増しの設定は、台所リモコン、ふろリモコンのどちらからもできます。

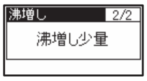
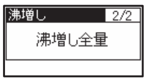
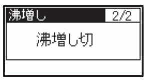
● 台所リモコンで設定する場合

【沸き増し】ボタンを押します。押すたびに下表のように表示が切り替わります。約２秒放置すると表示している内容で設定を完了し標準画面に戻ります。

電力契約	【沸き増し】ボタンを押したときの表示：各表示時に約２秒放置すると設定完了
時間帯別電灯 （昼間時間帯開始～昼間時間帯終了２時間前の間）	沸増し少量 → 沸増し全量 → 沸増し切 →（沸増し少量に戻る）
深夜電力 （深夜時間帯に沸き増しを行います。）	沸増し少量 ⟷ 沸増し切

（時間帯別電灯の場合は深夜時間帯開始 ２ 時間前～深夜時間帯終了の間は「沸き増し少量」のみの設定となります。

● **ふろリモコンで設定する場合**

電力契約 設定手順	時間帯別電灯	深夜電力 （深夜時間帯に沸き増しを行います。）	操　　作	音声ガイド （しんせつ）
―			メニューボタンを押して、メニューを表示させます。 ①【▲、▼】ボタンを押して「沸増し」を選択します。 ②【決定】ボタンを押します。	沸き増しを実行できます。
沸増し			①【▲、▼】ボタンを押して沸き増し量を設定します。 ②【決定】ボタンを押します。	沸き増し「切」です。
完了	少量設定時  全量設定時 	切設定時 	設定内容により左図のいずれかを表示します。約２秒後に標準画面に戻ります。	沸き増し「切」に設定しました。

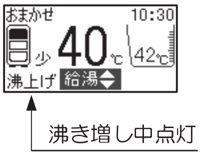
2　**沸増し設定時の標準画面**

沸増し少量または全量を設定すると、台所リモコン、ふろリモコンの標準画面にそれぞれ「少」、「全」を表示します。

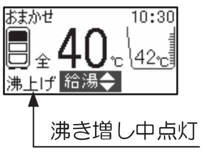
3　**沸き増しを開始すると**

お湯が減ってくると、標準画面に「沸上げ」を表示して、沸増しを行います。沸増しが終了すると「沸上げ」の表示は消えます。

少量設定時



全量設定時



Point

今日だけ、たくさんお湯を使いたい ・・・ 「沸増し」設定

毎日、湯切れが心配 ・・・・・・・・・・・・・・ 「湯切れ防止」設定

残湯量のみかた

● **残湯量表示は…**

給湯やおふろに使えるおよその湯量を表示します。残湯量表示は、お湯を使わなくても、追焚きや自然放熱などで表示が少なくなります。

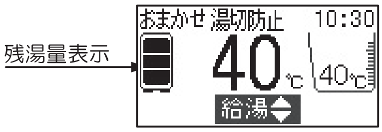
● **混合栓からでるお湯の温度は･･･**

残湯量は下の表に示すように約 45℃以上のお湯の量を表示していますから、給湯温度の設定が高いと、残湯量の表示が出ていても設定より低い温度のお湯が出ることがあります。

● **湯切れ注意**

その後の使用状況に応じて「湯切防止」や「沸き増し」の設定を行ってください。

P15 P17



リモコン表示部

● **お湯は残っています**

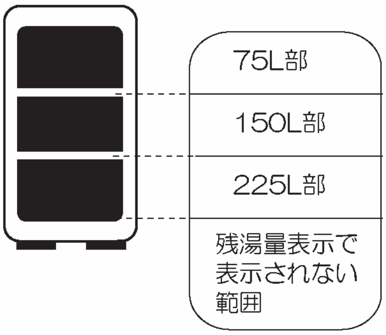
残湯量表示が消灯したあとも、約 75L のお湯が残っていますので、しばらくは給湯用としてお湯が使えます。
このとき、「タンク湯切確認」が約 10 秒間表示されます。

■残湯量のめやす

表示	タンク内の温度のめやす	残湯量のめやす	使用のめやす 給湯 シャワー	使用のめやす 湯張り	「湯切防止」を設定していると
	225L 部までが 約 50℃以上	225L 以上	○	○	
(点滅)	75L 部、150L 部は 約 50℃以上 225L 部は 45℃以上				
	150L 部までが 約 50℃以上	150L 以上	○	○	タンク内のお湯の温度状況により「沸き増し」を開始して、湯切れを防ぎます。
(点滅)	75L 部は 50℃以上 150L 部は 45℃以上			△	
	75L 部が 約 50℃以上	75L 以上	○	△	
(点滅)	75L 部が 約 45℃以上				
	75L 部が 約 45℃未満	75Ｌ未満	△	×	

○：使用できます。
△：湯切れする場合があります。
×：湯切れします。

残湯量表示　貯湯タンク内のイメージ



タンク容量
SBT-373KMZH：370L
SBT-463KMZH：460L
SBT-563KMZH：560L

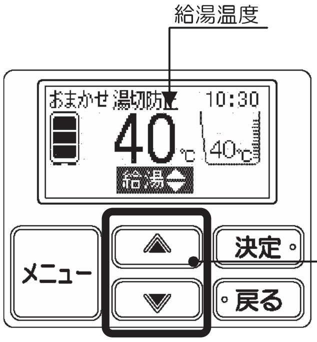
お湯を使用すると、使用した分だけタンクの下から給水されます。
お湯が、225L 以下になると、残湯量表示を点滅、消灯させて残湯量のめやすを表示します。

給湯温度を設定する

ふろリモコン
台所リモコン

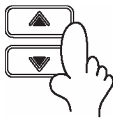
使用するお湯の温度を設定します

- 台所、洗面所、シャワーなどで使用するお湯の温度を設定します。
- シャワー使用時には、安全のため必ず「浴室優先」の設定をしてください。



1

温度設定のしかた

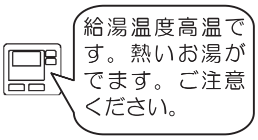


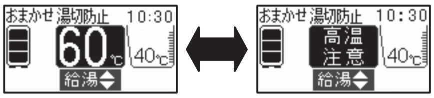
ボタンを押して給湯温度を設定します。

▲を押すと温度が高くなります。
▼を押すと温度が低くなります。

温度表示は下記のように変化します。
低温⇔ 35℃〜48℃ ⇔ 60℃
（水温）　（1℃刻み）

・60℃に設定した場合
やけどに注意していただくため下図を交互に表示します。





お知らせ

・タンク内の湯温が低い場合、設定温度の湯は出ません。
・タンク給水圧力の変動、ふろ湯張り中、2 か所以上で給湯するなどの場合、湯温や湯量が変動することがあります。

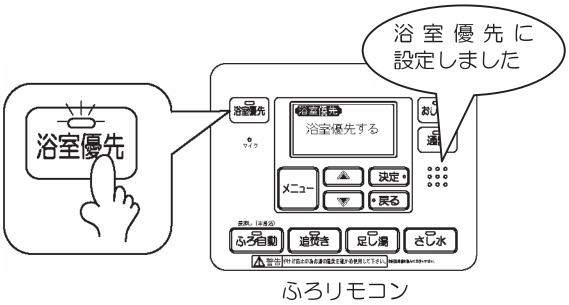
■「浴室優先」と「チャイルドロック」

浴室優先は、台所リモコンの温度変更を、**チャイルドロック**はふろリモコンのボタン操作を制限します。
シャワーなど浴室でお湯を使用している最中に、台所リモコンで給湯温度を変更すると非常に危険なため、ふろリモコンに「浴室優先」設定を設け、台所リモコンでの給湯温度の変更を制限しています。
また、台所リモコンでチャイルドロックを設定すると、ふろリモコンから設定の変更ができなくなります。誤って設定を変えることを防ぎます。
チャイルドロック設定中は【通話】、【おしえて】ボタンのみが使用できます。

- **浴室優先設定のしかた**（ふろリモコン）

ふろリモコンの【浴室優先】ボタンを押します。
ボタンのランプが点灯します。

もう一度【浴室優先】ボタンを押すと「浴室優先」を解除します。ボタンのランプが消灯します。

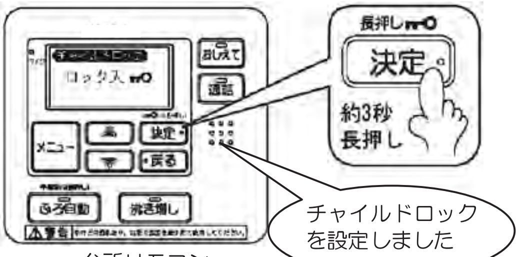


ふろリモコン

● **チャイルドロックのしかた**(台所リモコン)

台所リモコンの【決定】ボタンを、画面に「ロック入」と表示されるまで（約 3 秒）押し続けます。約 2 秒後に標準画面に戻ります。

もう一度【決定】ボタンを約３秒押し続けるとチャイルドロックを解除します。「ロック解除」と約 2 秒間表示します。



台所リモコン

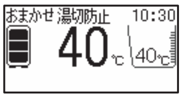
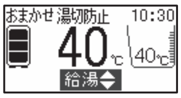
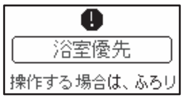
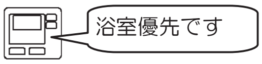
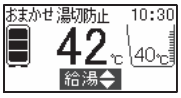
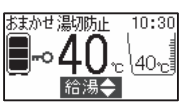
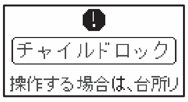
チャイルドロックは、「浴室優先」設定中も設定することができます。「チャイルドロック」を設定すると一時的に浴室優先を解除し、台所リモコンでのみ給湯温度の設定ができるようになります。「チャイルドロック」を解除しますと、再度浴室優先設定に戻ります。

⚠ 警告

給湯温度変更時は、他の場所での使用状況を確認する

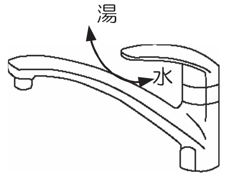
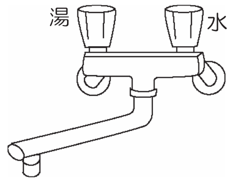
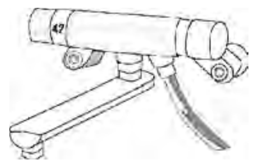
特に、他の人が入浴している時には、給湯温度を変えないよう充分注意してください。

■浴室優先とチャイルドロックの関係

		台所リモコン表示部/操作可不可	ふろリモコン表示部/操作可不可
浴室優先	標準画面の表示例	 台所リモコンの 給湯⇕ が消えているときは浴室優先が設定されています。温度の設定はできません。	 温度の設定ができます。
	【▲、▼】ボタン操作をしたとき	 操作すると「浴室優先」中を文字と音声でお知らせします。 	 希望する温度に設定できます。
チャイルドロック	標準画面の表示例	 給湯⇕ の表示があるので、温度の設定ができます。	ふろリモコンに 🔑 の表示があるとき温度の設定はできません。
	【▲、▼】ボタン操作をしたとき	希望する温度に設定できます。 ・「浴室優先」設定中でも、チャイルドロックを設定すると「浴室優先」を一時的に解除します。	 操作すると「チャイルドロック」中を文字と音声でお知らせします。

混合栓のおはなし

電気温水器を安全、便利にご使用いただくためには、各給湯個所に取り付ける混合栓（蛇口）も大切な役割があります。ご家庭で一般的にお使いになる混合栓には下表のような種類があります。

	(単水栓)	シングルレバー	ツーハンドル	サーモスタット付
外　観				
概　要	お湯または水専用の水栓です。お湯の場合、給湯機で設定した温度のお湯がそのまま出ます。	レバーを左右に操作して温度調節を、レバーを上下に操作して湯量の調節を行います。	お湯側、水側それぞれのハンドルを操作してお湯の温度や湯量を調節します。	混合水栓部で温度の設定ができます。シングルレバー、ツーハンドルに比べ温度の変化が少なくなります。

・**シングルレバーの混合栓**は、出湯、停止、温度や湯量の調節が簡単にできるので台所やシャンプー機能のない洗面所に向いています。

・**サーモスタット付混合栓**は、おふろやシャンプー機能付の洗面台で使用します。お湯を直接からだや頭にかけますので、あやまって熱い湯がでると大変危険です。サーモスタット付混合栓は、出湯温度が安定しやすく、より安全にお湯をご使用いただけます。
（給湯機の設定温度を混合栓設定温度に比べ何度高くするのかについては、ご使用の混合栓の取扱説明書をご参照ください）
（例）混合栓設定温度が 40℃の場合、給湯機の設定温度は 48℃

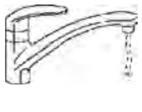
■ 混合栓の上手な使い方

1. レバー、ハンドルの開閉は水側からゆっくりと

・他の場所から給湯温度を変更している場合もあります。混合栓を開く時は、水側から開き湯温を確かめながらお湯を出します。

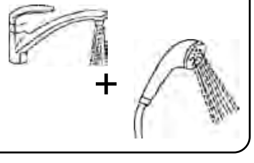
・給湯中に設定温度を変えたり、給湯量(混合栓の開き具合)を変えたときや、一旦給湯を止めたあと短時間の内に再度使用する場合、設定温度になるまでにしばらく時間がかかります。

2. 適度な流量で使用する



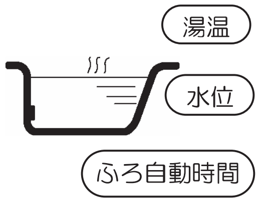
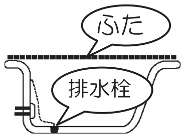
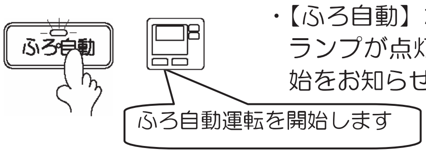
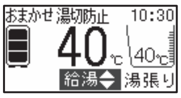
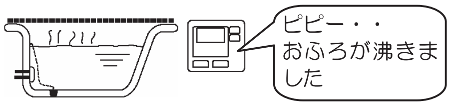
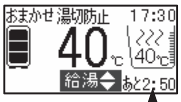
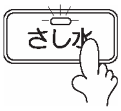
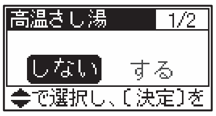
流量が少ないと
流量が極端に少ないと、温度が不安定になったり水が出たりします。

流量が多いと
一度に大量にお湯をだしたり、シャワーと台所など同時に使用すると温度が低くなることがあります。



おふろの使い方

おふろの準備と機能一覧

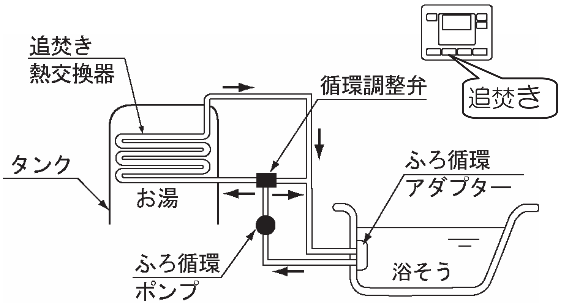
おふろの準備	湯張り温度や水位などを設定する		湯張り温度を設定します。 湯張りの水位を設定します。 湯張り後、自動で温度と水位を保つ時間を設定します。	P25
	浴そうを確認する		浴そうの排水栓をしてふたを閉じます	
ふろ自動運転	湯張り開始		・【ふろ自動】ボタンを押します。ボタンのランプが点灯し、文字と音声で湯張り開始をお知らせせます。	P26
	湯張り中	リモコン表示部	・ふろリモコン、台所リモコンの表示部に「湯張り」が点灯。	
	湯張り終了		・湯張り完了を文字と音声でお知らせ	
ふろ自動時間	お湯の温度と水位を保つ	リモコン表示部自動時間の残り時間を表示	お湯が冷めると：自動保温 「追焚き」をして湯温を保ちます。 お湯が少なくなると：自動足し湯 湯はり温度のお湯を足し湯します。	P26
	「ふろ自動」運転終了		【ふろ自動】ボタンのランプが消灯します。	
入浴中にできること	追焚き		湯量はそのままで温度を高くします。	P28
	足し湯		湯はり温度のお湯を約 20L 足してお湯の量を増やします。	P29
	さし水		水を約 15L 浴そうに入れて温度を下げます。湯量が増えます。	P29
	高温さし湯		【メニュー】－「高温さし湯」から開始します。高温のお湯を約 20L 浴そうに入れて湯量を増やし、温度を高くします。	P29

おふろを使うときのご注意とお願い

■ 追焚きのしくみとお願い

ふろ自動運転中や、ふろリモコンの【追焚き】ボタンを押して追焚きを開始すると、冷めたおふろのお湯をタンク上部の追焚きコイル(追焚き専用熱交換器)のパイプの中に通し、追焚コイルの外の熱いお湯で温めます。

追焚きをすると、タンクのお湯は冷めたおふろのお湯に熱を奪われて湯温が下がるので残湯量が少なくなります。



Point

● **長時間の追焚きは控えめに**

特に冬期、前日の残り湯の沸かし直しは、タンクのお湯の熱をたくさん使うので湯切れしやすくなります。湯はり温度と残り湯の温度差が大きい場合は、浴そうの湯を完全に抜いて湯張りをしてください。

● **ふろ自動時間の設定は短めに**

ふろ自動運転中は、おふろの温度が下がると自動で追焚きをします。ふろ自動時間は短めに設定するとともに、おふろを使い終わった後は、ふろ自動運転を解除してください。

ふろ自動運転中に【ふろ自動】ボタンを押すとふろ自動運転を解除します。

● **追焚きをするときの沸き上げ温度設定は**

追焚きには、タンクの中にふろの湯温＋約５℃ぐらいの熱いお湯がないと、残湯量があっても追焚きに時間がかかったり、追焚きできないことがあります。追焚きをされるときの沸き上げ温度設定は「おまかせ」、「標準」をおすすめします。（残湯量は、約 45℃以上のお湯の量を表示します）

⚠ 警告

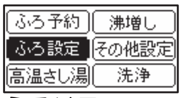
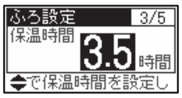
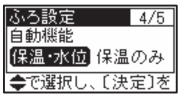
●入浴時は、ふろ循環アダプターから離れる。

「ふろ自動」「追焚き」「高温さし湯」の時にあつい湯がでますので、やけどのおそれがあります。

- タンクのお湯の温度が低い場合、ふろ湯張りや追焚き、高温さし湯が途中で停止したり、設定より低い温度になることがあります。
- 足し湯やさし水などのふろ機能動作中は、ふろ循環アダプターから泡がでることがありますが正常な動作です。
- ふろ機能開始時は、しばらく配管内に残っているお湯や水がでます。

おふろの設定

ふろ自動運転時のふろ温度と水位、保温時間などを設定します。設定した温度、水位で湯張りをした後も、ふろ自動運転中は設定温度、水位を保ちます。

設定内容	画面表示	操　　作	音声ガイド（しんせつ）
メニュー選択	 台所リモコン  ふろリモコン	メニューボタンを押してメニューを表示させます。 ①【▲、▼】ボタンを押して「ふろ設定」を選択します。 ②【決定】ボタンを押します。	ふろ設定です。
温度設定		①【▲、▼】ボタンを押してふろ温度を設定します。 温度は下記のように変化します 低温(水温) ⇔ 35℃ ～ 48℃(1℃刻み) ②【決定】ボタンを押します。	湯張り温度40℃です。(現在の設定温度をガイドします)
水位設定		①「【▲、▼】ボタンを押して湯張りの水位を設定します。 ・０１から１２まで設定できます。 ・水位「０１」は、ふろ循環アダプター上端より約 5cm 上になります。 ・「０２」、「０３」・・・と数が増えると約 3cm ずつ水位が上がります。 ②【決定】ボタンを押します。	湯張り水位 5 です。(現在の設定水位レベルをガイドします)
保温時間設定		①【▲、▼】ボタンを押して保温と水位を保つ時間を設定します。 ・最大６時間まで設定できます。 ・【▲、▼】ボタンを押すと 0.5 時間(30 分)単位で増減します。 ・保温時間を「0」に設定すると、保温を行いません。 ②【決定】ボタンを押します。 ※保温時間「０」を設定した場合、完了画面に進みます。	ふろ保温時間設定です。
自動機能設定		設定した保温時間の間、自動で保温と水位の両方を保持するか、保温のみ行うかを設定します。ジェットバスなど水位の変動が大きい場合は、必ず「保温のみ」を設定してください。 ①【▲、▼】ボタンを押して「保温・水位」または「保温のみ」を選択します。 ②【決定】ボタンを押します。	温度、水位を一定に保ちます。(保温・水位の場合)
完了		設定完了のメッセージが表示されます。約 10 秒後に通常画面に戻ります。	各設定値をガイドします。

設定値は目安です

- 設定した湯張り温度は、配管の長さ・保温状態や浴そうの放熱により若干変動します。湯張り後の温度が低い場合は、次回から湯張り温度を高くしてください。
- 湯張り水位は、浴そうの形状によって異なる場合があります。最初の数回はご家庭の浴そうに合わせて設定してください。

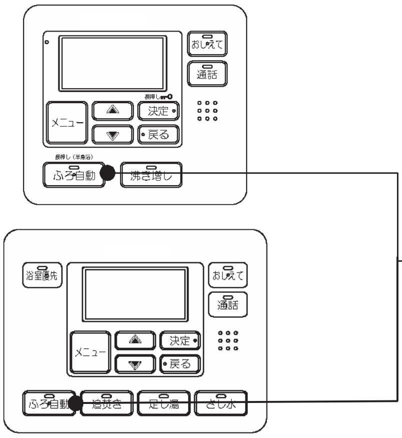
ふろ湯張り（ふろ自動運転）のしかた

ふろリモコン
台所リモコン

- 【ふろ自動】ボタンを押すだけで、あらかじめ設定した温度、水位で湯張りを行います。
  湯張り終了後は、設定温度、水位を保持するよう自動で追焚き(保温)、足し湯を行います。
- 湯張りは台所リモコン、ふろリモコンのどちらからでも行えます。

台所リモコン

ふろリモコン

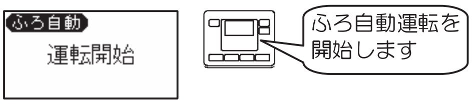


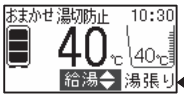
1 おふろの準備

浴そうの排水栓を閉じてふたをします。
残り湯からも湯張りができます。

2 湯張り開始

を押す。





ふろ湯張り中表示

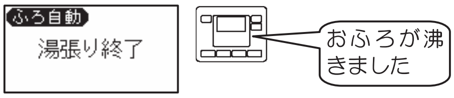
⚠ 警告

湯張り中に入浴しない

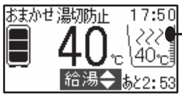
・高温の湯が出て、やけどすることがあります。
・湯はりが正常に終了しない場合があります。

3 湯張り終了

設定した湯張り温度、湯張り水位になるとふろ湯張りを停止します。



湯張りが終了すると、リモコンに「湯気」のアイコンを表示します。「湯気」のアイコンは湯張りが終了したことを表し、湯張り終了から 2 時間表示します。



「湯気」のアイコン

⚠ 警告

●入浴時は、ふろ循環アダプターから離れる。

「ふろ自動」「追焚き」「高温さし湯」の時に高温の湯が出て、やけどすることがあります。

ふろ循環アダプター

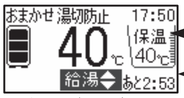
4 自動保温・足し湯

設定された時間(自動時間)追焚き(保温)・足し湯を自動的に行い、設定した温度、水位を保ちます。

（お買い上げ時の設定は 0 時間です。ふろ湯張り後、自動で追焚き・足し湯を行いません）

P25

湯はり後の表示



保温中の表示

自動運転中は、湯気のアイコンと「保温」を交互に表示

自動(運転)時間の残り時間を表示

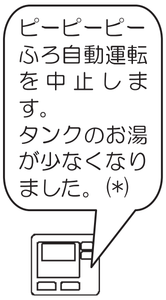
湯張り中に・・・

湯張り中に入浴しない

湯張り中は、浴そうに入らないでください。湯張り水位が低くなるなど、正常に湯張りできないことがあります。

湯張りが中断する

湯張り中は、湯張りの温度や水位を確認するために中断します。



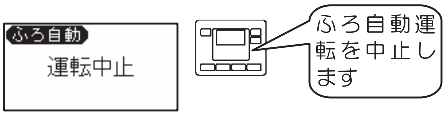
湯張りが途中で止まる

タンク内の温度が低い場合、残湯量があっても湯張りができないことがあります。沸き増しをしてください。 P17

(*)通信のタイミングにより音声の順序や内容が変わることがあります。

5 途中で止めたいとき

ふろ自動運転中に【ふろ自動】ボタンを押すとふろ自動運転を停止します。



6 入浴が終わったら

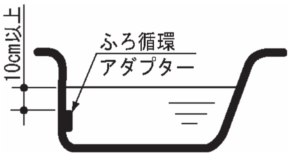
ふろ自動時間が残っている場合は【ふろ自動】ボタンを押してふろ自動運転を停止してください。

自動運転を継続していると、必要のない追焚きや水位保持をしてお湯を使ってしまいます。

お願い

冬期は、凍結防止のため残り湯をふろ循環アダプター上端より10cm以上残しておいてください。 P39

外気温度が下がると、ふろ配管に浴そうの湯を自動で循環させて凍結を防止します。



お知らせ

ふろ自動運転終了後に入浴すると、凍結防止運転時にふろ循環アダプターから冷めた湯が出てくる場合があります。入浴時は、「ふろ自動運転」を行ってください。

残り湯から湯張りする場合のご注意

この温水器は、残り湯があっても正常に湯張りできますが、下記の点にご注意ください。

- 「湯切れ防止」設定中に、残り湯から「ふろ自動」や「追焚き」を開始すると、残湯量が充分あっても沸増しを開始することがあります。
- 冬期、前日の残り湯からの沸かし直しはタンクのお湯をたくさん使うので湯切れの原因になる場合があります。
- 残り湯の水位が循環アダプターの上端位置付近にある場合は、正常に湯張りが動作しないことがあります。このような場合は、お湯を少し抜いてください。

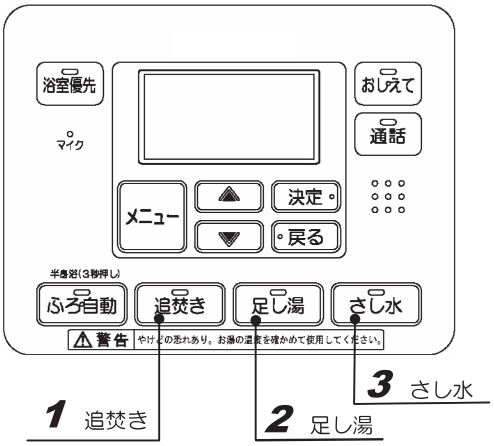
お知らせ

- 湯張り中に、シャワーや台所などでお湯を使うと湯張り時間が長くなることがあります。
- タンク内の温度が低いときや、湯張りと給湯の温度差によっては、湯張り中にシャワーや台所などでお湯を使うと、湯張りを中断することがあります。

入浴中にできること　ふろリモコン

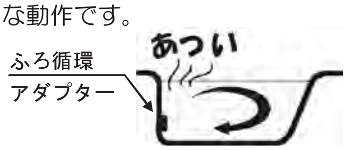
おふろに入っているときにできること

	機能名	機　　能	操作ボタン	備　考
1	追焚き	湯量はそのままで温度を高くします	追焚き	—
2	足し湯	湯はり温度のお湯を約 20L 足します	足し湯	操作後は、浴そうの湯量が多くなります。
3	さし水	約 15L 水を足しておふろの温度を下げます	さし水	
4	高温さし湯	高温のお湯を約 20L 足して温度を高くします	メニュー/高温さし湯	



4 高温さし湯：【メニュー】から開始します。

- いずれの動作も正常に終了すると「ピピー」と音と文字表示でお知らせします。
- 動作時は、ふろ循環アダプターから離れてください。高温のお湯や冷たい水が出ます。また、ふろ循環アダプターから泡が出ることがありますが正常な動作です。

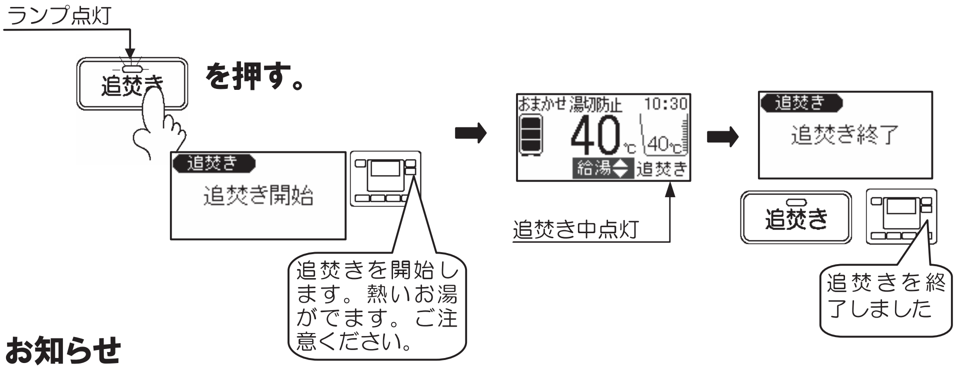


- 動作開始後しばらくは、配管に残っているあつい湯や水が出ます。
- 残湯量があってもタンクのお湯の温度が低い時、動作を中止することがあります。「ピーピーピー」と音と文字表示でお知らせします。

1　追焚きをする

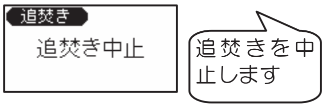
湯量はそのままで、あついおふろに入りたい時、冷めたおふろを沸かし直したい時に使用します。

- 湯温がふろ湯張り設定温度より低い場合、設定温度まで追焚きして自動停止します。
- 湯温がふろ湯張り設定温度以上の場合、約 2℃湯温が上昇するよう追焚きして自動停止します。
- 追焚きには、ふろ循環アダプター上端以上の水位が必要です。



途中で止めたいとき

もう一度 追焚き を押します。(ランプが消灯します)

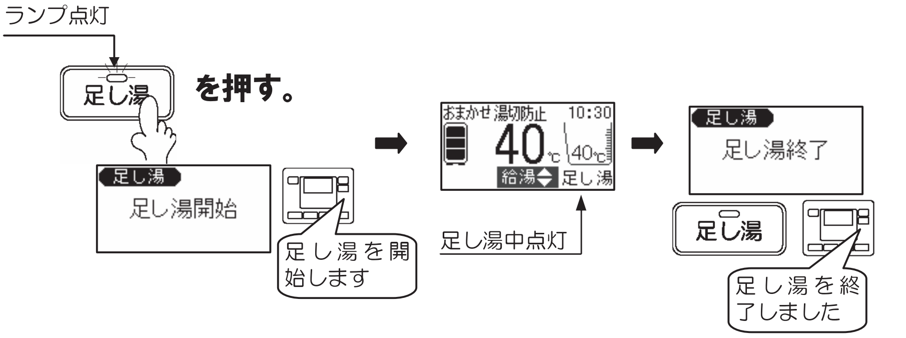


お知らせ

- ・追焚きをすると残湯量は少なくなります。 P24
- ・タンク内の温度が低い場合、残湯量の表示があっても追焚きができなかったり、途中で追焚きを停止することがあります。追焚きを多く使用される場合は「湯切防止」の設定をおすすめします。 P15

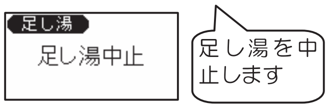
2 足し湯をする

お湯の量を増やしたいときに使用します。
湯張り温度のお湯を約 20L 足して自動停止します。



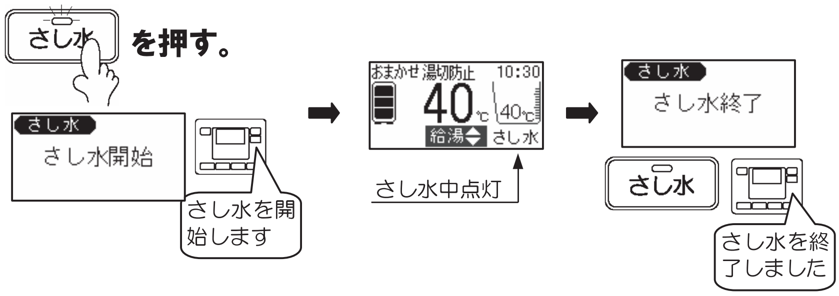
途中で止めたいとき

もう一度 足し湯 を押します。（ランプが消灯します）



3 さし水をする

おふろの温度を下げたいときに使用します。
約 15L の水をおふろに足して自動停止します。

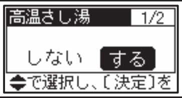
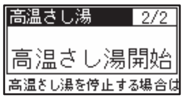
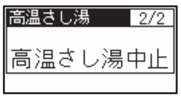
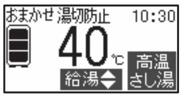
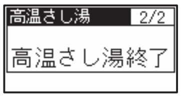


途中で止めたいとき

もう一度 さし水 を押します。（ランプが消灯します）

4 高温さし湯をする

高温のお湯を足しておふろの温度を上げます。
約 60℃のお湯を約 20L 足して自動停止します。

<table>
<tr><th colspan="2">画面表示</th><th colspan="2">操作/表示画面説明</th><th>音声ガイド
（しんせつ）</th></tr>
<tr><td colspan="2"> </td><td colspan="2"> メニューボタンを押して、メニューを表示させます。
①【▲、▼】ボタンを押して「高温さし湯」を選択します。
②【決定】ボタンを押します。</td><td>高温さし湯を実行できます。</td></tr>
<tr><td>開始の場合</td><td>中止の場合</td><td colspan="2" rowspan="2">①【▲、▼】ボタンを押して「する」を選択します。
②【決定】ボタンを押します。
※「しない」を選択すると通常画面に戻ります。</td><td rowspan="2">高温さし湯をしますか。/高温さし湯中です。中止しますか。</td></tr>
<tr><td></td><td> </td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td>開始の場合</td><td>中止の場合</td><td rowspan="2">高温さし湯を開始します。熱いお湯がでます。ご注意ください。/高温さし湯を中止します。</td></tr>
<tr><td>約 30 秒間、左図を表示します。
高温さし湯中に停止する場合は【さし水】ボタンを 2 回押してください。</td><td>約 2 秒間、左図を表示します。高温さし湯中止の場合は、通常画面に戻ります。</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">高温さし湯中は、やけど防止のため「高温さし湯」を表示します。熱い湯が出ますのでふろ循環アダプターから離れてください。</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">高温さし湯が終了すると、約 2 秒左図を表示した後、通常画面に戻ります。</td><td>高温さし湯を終了しました。</td></tr>
</table>

お知らせ

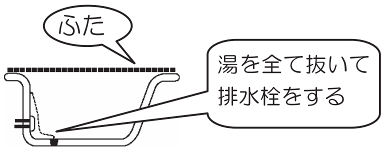
・シャワーや台所などでお湯を使用している時に、足し湯、さし水、高温さし湯を行うと、湯温や湯量が変動することがあります。

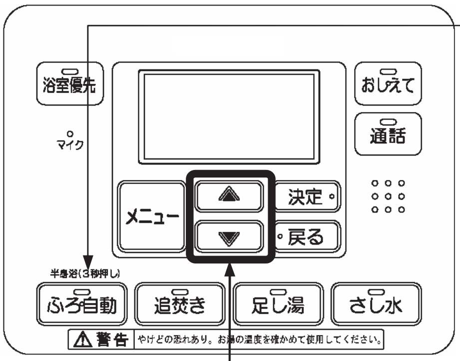
半身浴をする

ふろリモコン
台所リモコン

半身浴をしたいとき

【ふろ自動】ボタンを３秒押し続けると、半身浴モードで湯張りします。
半身浴モードでは低温のお湯を少なめに湯張りします。湯張り後 3 時間、追焚きをして保温を行います。





ふろリモコン　温度設定ボタン

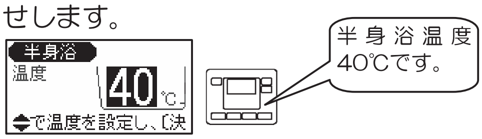
1 おふろの準備

浴そうの湯をすべて抜いて排水栓を閉じ、ふたをします。残り湯からの半身浴湯張りはできません。

2 湯張り温度の設定

を約 3 秒押しつづける。

・現在設定の湯張り温度を音声と画面でお知らせします。

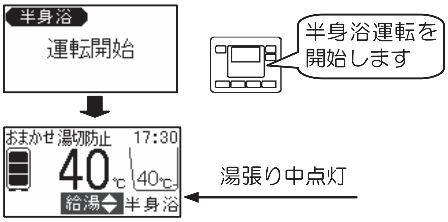


・半身浴モードの湯張り温度は 38～41℃の範囲で設定できます。【▲、▼】ボタンを押して温度を設定します。

※お買い上げ時は 38℃に設定されています。

3 湯張り開始

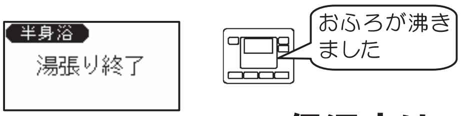
【決定】ボタンを押すと湯張りを開始します。



湯張りが終了すると、リモコンに ♨ を表示します。（♨は湯張りが終了したことを表し、湯張り終了から２時間表示します。

4 湯張り終了

湯張りが終了すると音声と画面でお知らせします。

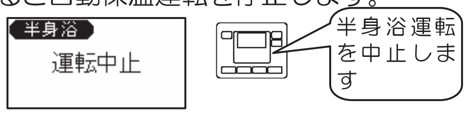


5 保温中は・・・

湯張り後、３時間自動保温します。

6 途中で止めたいとき

ふろ自動運転中に【ふろ自動】ボタンを 3 秒押しつづけると自動保温運転を停止します。

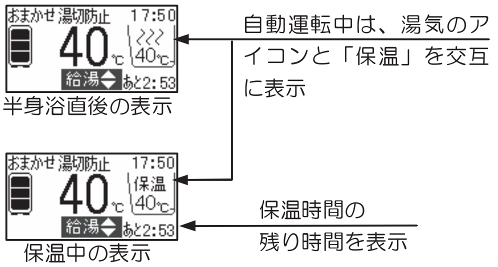


⚠ 警告

・湯張り中に入浴しない
・入浴時は、ふろ循環アダプターから離れる。
高温の湯が出て、やけどすることがあります。

お知らせ

・半身浴の湯張り予約はできません。
・自動運転中は、ふろリモコン・台所リモコンの【ふろ自動】ボタンは操作できません。
・自動湯張り時の水位は一定です。ふろ循環アダプターの上端から約 5cm 上をめやすにお湯はりをします。



ふろ湯張り予約のしかた

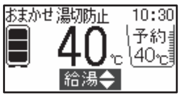
ふろリモコン
台所リモコン

こんなとき

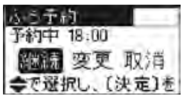
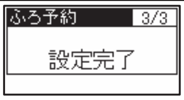
ふろ湯張り予約を設定すると予約した時刻に湯張りが完了し、おふろに入れます。

- ふろ湯張り予約は、湯張り完了の１時間以上前に設定してください。
- ふろ湯張り予約は、使用のつど設定してください。

■予約をする場合

設定内容	画面表示	操　　作	音声ガイド（しんせつ）
―		メニューボタンを押してメニューを表示させます。 ①【▲、▼】ボタンを押して「ふろ予約」を選択します。 ②【決定】ボタンを押します。	ふろ予約です。
「時」の設定		①【▲、▼】ボタンを押して湯張り開始「時」を設定します。 ②【決定】ボタンを押します。	ふろ予約時刻設定です。
「分」の設定		①【▲、▼】ボタンを押して湯張り開始「分」を設定します。 ②【決定】ボタンを押します。	―
完了		約１０秒間、設定完了の表示をします。	設定しました。
予約中の表示		通常画面に戻ります。「予約」が点灯します。 「♨ 」が点灯中に予約を設定した場合、予約設定は完了していますが、「予約」は「♨」が消灯した後点灯します。	―

■予約確認・変更・取消をする場合

設定内容	画面表示	操　　作	音声ガイド（しんせつ）
―		①メニューボタンを押して、「ふろ予約」を選択します。 ②【決定】ボタンを押します。	ふろ予約です。
継続・変更・取消		ふろ湯張り予約時間が表示されます。確認後、【▲、▼】ボタンで項目を選択し、【決定】ボタンを押します。 ・「継続」：予約を継続します。 ・「変更」：予約時刻を変更できます。 ・「取消」：予約を取り消します。	ふろ予約中です。
取消完了		「取消」を選択した場合は、左図の画面を、「継続」を選択した場合は、「設定完了」の画面を約１０秒表示した後通常画面に戻ります。	予約、取消しました。

お知らせ

- ふろ湯張り予約中に【ふろ自動】ボタンを押すと自動運転を開始します。

ご注意

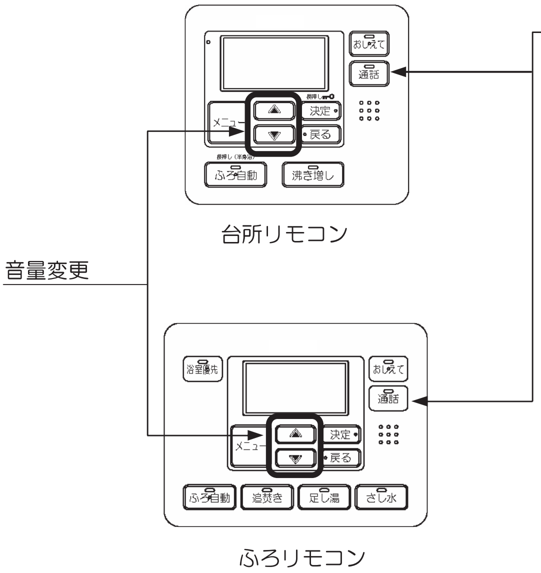
- 現在時刻が合っていないと予約した時刻にふろ湯張りが完了しません。
- 水圧の変動などで、ふろ湯張り完了時刻が予約した時間とずれる場合があります。

インターホンを使う

ふろリモコン
台所リモコン

ふろリモコンと台所リモコンの間で会話ができます

ふろリモコン、台所リモコンのどちらからも呼び出せます。



1 呼び出し

を押す。

ピッピッピッと呼び出し音がなり、呼び出し側、相手側リモコンの【通話】ボタンのランプが点灯します。

2 お話し

通話モードになり、ふろリモコンと台所リモコンの間でお話しができます。

台所リモコンでは：リモコンに向かってそのままお話しください。

ふろリモコンでは：「通話」ボタンを押しながらリモコンに向かってお話しください。

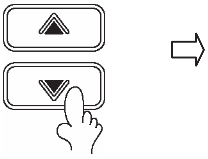
3 終了

約３０ 秒たつと【通話】ボタンのランプが消灯し、自動的に終了します。

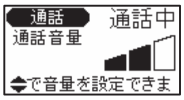
Point

通話中に音量を変更する

通話中に【▲、▼】ボタンを押すと音量を変更できます。
相手の声が大きい時や聞取りにくい時に調整してください。



▲または▼ボタンを押します。



操作しているリモコン表示部が変わります

▲：音量が
小　→　標準　→　大　の順に変化します。
▼：音量が
大　→　標準　→　小　の順に変化します。
会話をしながら音量を確認してください。

ご注意

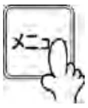
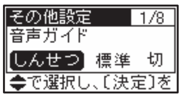
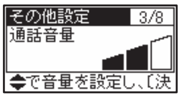
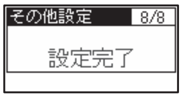
- ふろと台所で同時にお話しすることはできません。どちらかが話し終わってから話してください。
- 会話の最初は音が途切れる場合があります。
- 雑音の大きい場所では、通話ができない場合があります。シャワーを止める、テレビの音量を下げるなどしてから通話を行ってください。
- 通話中にハウリング(キーンという音)がする場合は、インターホンの音量を下げてください。

音声ガイドモード・音量を設定する

ふろリモコン
台所リモコン

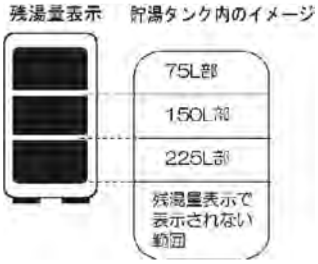
台所リモコン、ふろリモコンの音声ガイドのモードやインターホン・音声ガイドの音量を各々に設定できます。

■設定のしかた

設定内容	画面表示	操　　作	音声ガイド（しんせつ）
メニュー選択	 台所リモコン ふろリモコン	 メニューボタンを押してメニューを表示させます。 ①【▲、▼】ボタンを押して「その他設定」を選択します。 ②【決定】ボタンを押します。 ※設定するリモコンにより、表示内容が異なります。本説明は、台所リモコンの画面で説明しています。	その他設定です
音声ガイド		音声ガイドのモードを設定します。各モードの内容は下記です。 しんせつ：すべての操作について、操作内容を音声でお知らせします。 標　　準：主な操作をしたときに、操作内容を音声でお知らせします。 切　　：操作時は、ブザー(ボタンの操作音)のみで操作したことをお知らせします。 ①【▲、▼】ボタンを押して音声ガイドモードを設定します。 ②【決定】ボタンを押します。	音声標準です。(設定値をガイドします)
ガイド・ブザー音量		音声ガイド、ブザーの音量を設定します。音量は小・標準・大・切の 4 種類があります。切に設定しますと、音声ガイド、ブザー(ボタンの操作音)の音量が聞こえなくなります。 ①【▲、▼】ボタンを押して音量を設定します。 図は「標準」を示します。黒いマークがなくなると「切」です。 ②【決定】ボタンを押します。	音量標準です。(設定値をガイドします)
通話音量		通話音量は、小・標準・大の３種類があります。 ①【▲、▼】ボタンを押して通話音量を設定します。 ②【決定】ボタンを押すと完了します。 ※台所リモコンで設定した場合は、次にタンク休止の設定画面になりますので「しない」を選択し、【決定】ボタンを押してください。	通話音量標準です。(設定値をガイドします)
完了		設定完了のメッセージが表示されます。約 10 秒後に通常画面に戻ります。	設定しました。

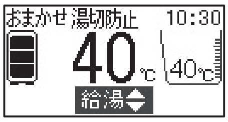
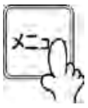
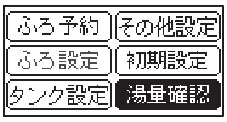
残りの湯量を知りたいとき　台所リモコン

あとどのくらいお湯を使用できるか確認できます



残湯量表示をもとに、42℃のお湯があと何Ｌ以上使用できるかを表示します。

■確認のしかた

画面表示	操　　作	音声ガイド（しんせつ）
	 メニューボタンを押します。	—
	①【▲、▼】ボタンを押して「湯量確認」を選択します。 ②【決定】ボタンを押します。	湯量確認です。
	残湯量が表示します。 標準画面に戻る場合は【メニュー】ボタンを押します。	残り湯量です。

■ **お知らせ**

●残湯量(本日)の表示量は、タンク 225Ｌ部までの湯量を混合栓で 42℃の給湯した場合に使用できる湯量の目安を示します。沸き上げ直後では、約 400L～９９９L 以上を表示します。（季節により、数値は変化します。）

●タンクの温度センサの値を用いているため、ふろの追焚きやタンクの放熱でタンクの温度が低下すると、混合栓などでお湯を使用していなくても残湯量が変化します。

過去の使用パターンを知りたいとき　台所リモコン

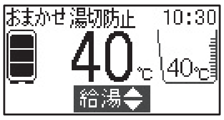
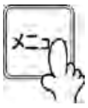
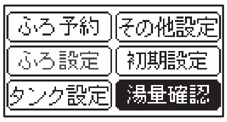
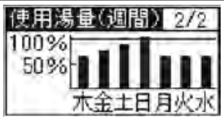
過去 1 週間の使用パターンを見ることが出来ます

■ **お知らせ**

●タンク内を 90℃で沸き上げたときに使用できる湯量を１００%としています。

●ふろの追焚きやタンクの放熱は、混合栓などでお湯を使用していませんが、タンク内の温度が低下するため使用量として加味しています。

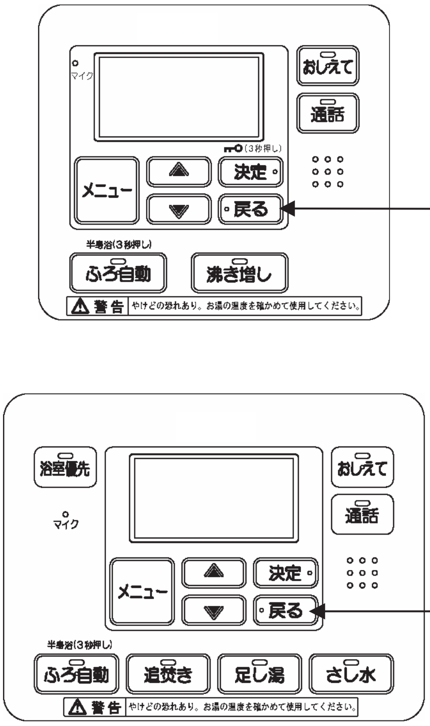
■確認のしかた

画面表示	操　　作	音声ガイド（しんせつ）
	 メニューボタンを押します。	—
	①【▲、▼】ボタンを押して「湯量確認」を選択します。 ②【決定】ボタンを押します。 ③残湯量が表示しますので、再度【決定】ボタンを押します。	湯量確認です。
	使用湯量が表示します。 標準画面に戻る場合は【決定】ボタンを押します。	お湯の使用量です。

画面がみづらいときの調整

ふろリモコン
台所リモコン

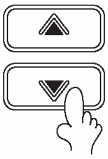
台所リモコン、ふろリモコンの画面の明暗（コントラスト）を調整できます。
リモコンの画面を見ながら調整してください。



1 調整モード起動

【戻る】ボタンを３秒長押しします。
コントラスト調整画面になります。

2 調整方法



画面を見ながら▲、▼ボタンを押して調整します。

3 調整終了

【決定】ボタンを押すと調整を終了し、標準画面に戻ります。

数日間お湯を使わないとき

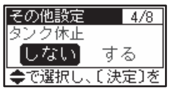
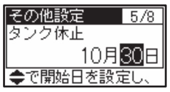
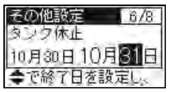
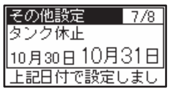
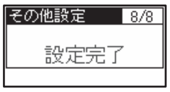
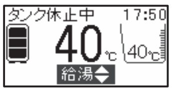
台所リモコン

こんなとき

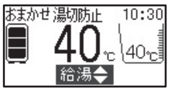
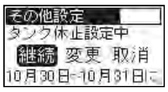
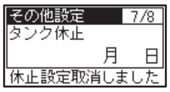
旅行などで数日間お湯を使用しないとき。

- タンクのお湯の沸き上げを停止することができます(タンク休止)。
- 沸き上げ停止日数は 1 日～15 日まで設定できます。

■設定のしかた：下記は 10 月 30 日から 10 月 31 日の間のタンク休止の例です。この例では、10 月 30 日は沸き上げを行わず、10 月 31 日の深夜時間帯に沸き上げを行います。(11 月 1 日からお湯が使用できます。)

設定内容	画面表示	操　　作	音声ガイド（しんせつ）
―		台所リモコンのメニューボタンを押してメニューを表示させます。 ①【▲、▼】ボタンを押して「その他設定」を選択します。 ②【決定】ボタンを押します。	その他設定です。
タンク休止設定		①【決定】ボタンを 3 回押して「タンク休止」画面を表示させます。 ②【▲、▼】ボタンを押して「する」を選択します。 ③【決定】ボタンを押します。	タンク休止設定します。
開始日		①【▲、▼】ボタンを押してタンク休止開始日を設定します。 ②【決定】ボタンを押します。	タンク休止開始設定です。
終了日		①【▲、▼】ボタンを押してタンク休止終了日を設定します。 ②【決定】ボタンを押します。	タンク休止終了設定です。
設定完了		① タンク休止の設定が完了しました。 ②【決定】ボタンを押します。	タンク休止設定します。
		設定完了のメッセージが表示されます。約 10 秒後に通常画面に戻ります。	設定しました。
休止中の表示		通常画面に戻ります。	―

■タンク休止確認・変更・取消の場合

設定内容	画面表示	操　　作	音声ガイド （しんせつ）
—		メニューボタンを押します。	—
—		①【▲、▼】ボタンを押して「その他設定」を選択します。 ②【決定】ボタンを押します。	その他設定です。
休止期間確認		①【決定】ボタンを 3 回押して「タンク休止設定中」画面を表示させます。 ②タンク休止期間が表示されます。確認後、【▲、▼】ボタンで項目を選択し、【決定】ボタンを押します。 ・「継続」：休止設定を継続します。 ・「変更」：休止期間を変更できます。 既にタンク休止期間中の場合、「変更」はできません。一度「取消」を行ってから再度設定してください。 ・「取消」：休止を取り消します。	タンク休止設定中です。
設定完了		① タンク休止の「取消」を選択した場合は左の画面になります。 ②【決定】ボタンを押します。	(取消の場合) 取消ししました。
		設定完了のメッセージが表示されます。約 10 秒後に通常画面に戻ります。	設定しました。

ご注意

・冬期、凍結のおそれがある場合は、タンク休止の設定はしないでください。
また、浴そうのお湯は残しておいてください

非常用水として使用する

万一、災害の時は

災害時などには、タンクのお湯を非常用生活用水として利用できます。
飲用はできません。やむを得ず飲用する場合は、必ず沸騰させてください。

1 漏電遮断器の電源スイッチを切る

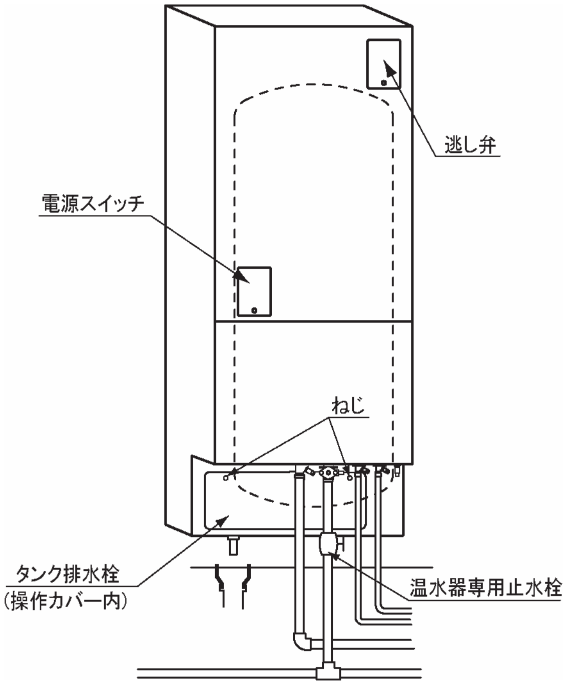
カバー内に漏電遮断器が2つあります。それぞれの電源スイッチを切ってください。

2 温水器専用給水止水栓を閉じる

タンクへの給水を止めます。温水器専用止水栓の位置は据付状況により異なります。

3 逃し弁を開く

タンクへの空気を入れ、取水できるようにします。

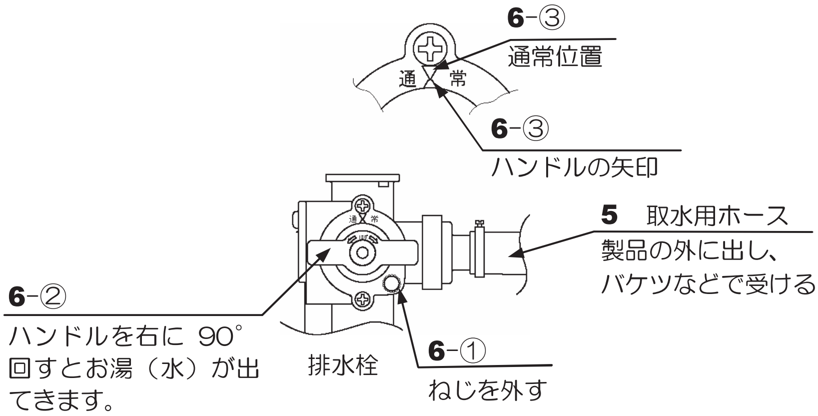


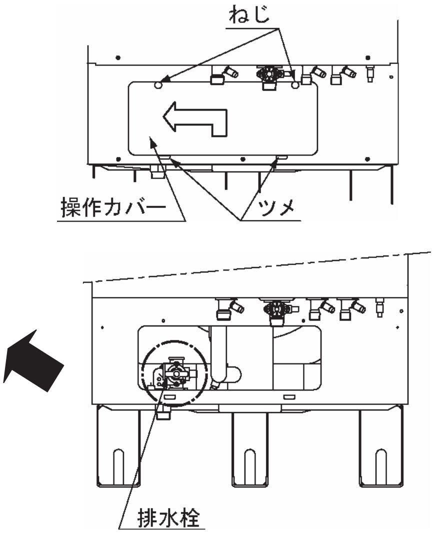
4 タンク排水栓のカバーを外す

タンク排水栓のカバーのねじ(2 本)をゆるめ、カバーをツメが抜けるまで上方へずらした後、排水栓のハンドルが見えるまでカバーをずらします。
※脚カバーを取り付けている場合、脚カバーのねじを外し、脚カバーを外す必要があります。

5 取水ホースを取り出す

取水用ホースを取り出します。





6 タンク内のお湯(水)を出す

①ねじをゆるめ、取り外します。
②ハンドルを右に 90°回すとホースからお湯(水)が出ます。
③止めるときはハンドルを左に 90°回し、ハンドルの矢印を通常位置に合わせ、①で取り外したねじを取り付けてください。

⚠ 警告

・やけどに注意
取水中、熱湯(最高 90℃)が出る場合があります。

お願い

・取水開始時は、湯あかなどが出ますのでしばらく洗い流してください。
・取水後は、排水栓が閉じていることを確認してください。
・再び給湯機として使用するときは、お買い上げの販売店、または工事店にタンクへの給水を依頼してください。**有償です。**

凍結防止について

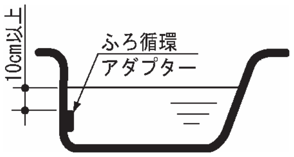
各配管に保温工事がしてあっても、本体周囲温度が 0℃以下になると配管が凍結し、温水器や配管が破損することがあります。
寒冷地だけでなく、暖かい地域でも凍結することがありますので、お買い上げの販売店、工事店へ相談して適切な凍結防止対策を行ってください。

凍結が予想される日は、下記の処置を行ってください。

1 おふろのお湯はぬかないでください

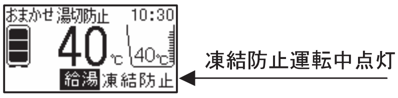
Point

冬期は、凍結防止のため残り湯をふろ循環アダプター上端より 10cm 以上残しておいてください。



浴そうのお湯を、ふろ循環アダプター上部より 10cm 以上残しておきます。
外気温度が下がると、ふろ配管に浴そうの湯を自動で循環させて凍結を防止します。

凍結防止運転中は、リモコンに「凍結防止」を表示します。
循環ポンプを運転しますので運転音がします。



浴そうに残り湯がない場合、循環ポンプは運転しますが、ふろ配管の凍結防止はできませんのでご注意ください。
また、この場合、ふろ配管内の水が浴そうに排出され、浴室でゴボゴボ音がします。

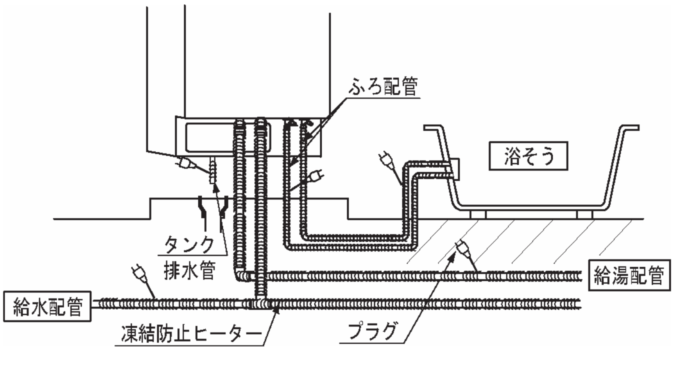
ふろ自動運転終了後に入浴すると、凍結防止運転時にふろ循環アダプターから冷めた湯が出てくる場合があります。入浴時は、「ふろ自動運転」を行ってください。

2 混合水栓を少し開いておく

①給湯温度を「低温」に設定します。

②流水量を調節します。
各混合水栓を開け、わずかに水が出るように調節します。

3 凍結防止ヒーターを使う



① 凍結防止ヒータが、左図のように巻かれていることを確認します。

② 凍結が予想される季節になったら、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。

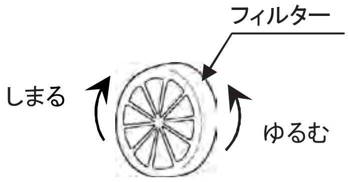
③ 凍結しない季節になったら、プラグをコンセントから抜いてください。

日常のお手入れと点検

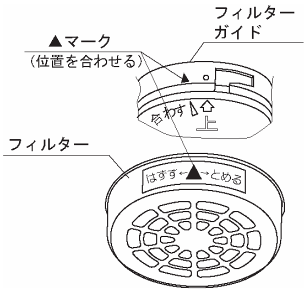
日常のお手入れ

■ ふろ循環アダプターの掃除

ふろ循環アダプターが汚れていると、湯張りなどのふろ機能が正常に動作しなかったり、汚れが浴そう内に流れ出したりすることがあります。こまめに掃除してください。



①浴そうのお湯を排水した後、ふろ循環アダプターのフィルターを外してください。
②歯ブラシなどを使用して水洗いしてください。
③元通り取り付けてください。
取り付け時は、フィルターガイドの『△』のマークにフィルターの『△』を合わせてはめ込み右に止まるまでまわしてください。フィルターは**無理にはめ込まない**でください。



■ リモコンの掃除

リモコンの表面が汚れたときは、水に濡らした布を固く絞って拭いてください。
ベンジン・シンナーなどは、リモコンの変形や変色の原因になりますので使用しないでください。

月に1度のお手入れと点検

■ 時刻の確認

リモコンの時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。月に一度は時刻を確認し、正確な時刻に合わせてください。 P13

■ 漏電遮断器の点検

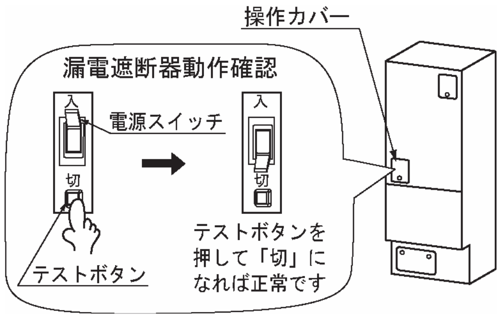
漏電遮断器は、万一漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。漏電遮断器は、操作カバー内に２つ並べて配置していますので２つとも動作確認をしてください

⚠ 警告

漏電遮断器の動作確認をする。

故障のまま使用すると感電することがあります。

①テストボタンを押す。
電源スイッチが「入」→「切」になれば正常です。
②電源スイッチを「入」に戻します。



テストボタンを押しても「切」にならない場合は、元電源ブレーカと電源スイッチを「切」にして、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 逃し弁の点検

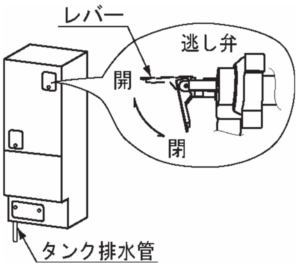
逃し弁は沸き上げ時、膨張水を排出しタンク内が高圧になるのを防ぎます。**逃し弁の点検は、沸き上げ時**（リモコンに「沸上げ」を表示）**に行わないでください。**

①タンク排水管からお湯（水）が出ていないことを確認する。
②逃し弁のレバーを２、３回上下させ、上げたときのみタンク排水管からお湯（水）が出ることを確認する。
③逃し弁のレバーを下げてお湯（水）が止まることを確認する。お湯（水）が止まらないときは、レバーを２～３度上げ下げしてください。

⚠ 警告

逃し弁点検時は、配管に手を触れない。

手を触れるとやけどをすることがあります。



レバーを上げたときにタンク排水管から、お湯（水）が出ない場合や、レバーが下がっているのにお湯（水）がでる場合は、弁類の故障が考えられます。
電源スイッチを「切」にしてお買い上げの販売店にご連絡ください。

・点検後は、必ず逃し弁のレバーを下げてください。
・沸き上げ中に、少量のお湯を排水するのは正常な動作です。

■ 配管の点検

温水器の周囲が漏れていないか、配管の保温材が傷んでいないか点検してください。
特に集合住宅（マンション）では、水が漏れると階下に被害を与えます。
ドレンホースから水がでていないことを確認してください。

■ タンクのそうじ

使用中、タンク底部に湯あかなどの沈でん物がたまります。
タンクの湯を排水することにより、タンク内の沈でん物を除去します。
タンクのそうじは、沸き上げ時（リモコンに「沸き上」を表示）**に行わないでください。**

①温水器専用止水栓を閉め、逃し弁のレバーを上げます。
②タンク排水栓を開けて約２分間排水してください。
③排水栓を閉じ、温水器専用止水栓を開けます。
④排水管から湯（逃し弁からの湯）がでてきたら、逃し弁のレバーを下げます。
⑤排水管から湯が出ないことを確認してください。湯が止まらない場合は逃し弁のレバーを２～３度上げ下げしてください。

逃し弁のレバー、温水器専用止水栓、タンク排水栓の位置は P11 を参考にしてください。

⚠ 警告

タンクの排水時は、お湯に手を触れない。
やけどをすることがあります。

半年に１回のお手入れ

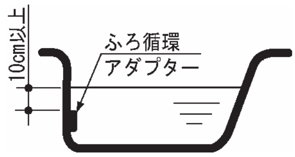
■ ふろ配管の洗浄

洗浄剤を使用して、ふろ配管を洗浄します。
ふろ配管への汚れの付着を軽減するため年 2 回程度、または汚れが浴そうに排出されるなど汚れが目立つ場合は、ふろ配管の洗浄を行ってください。

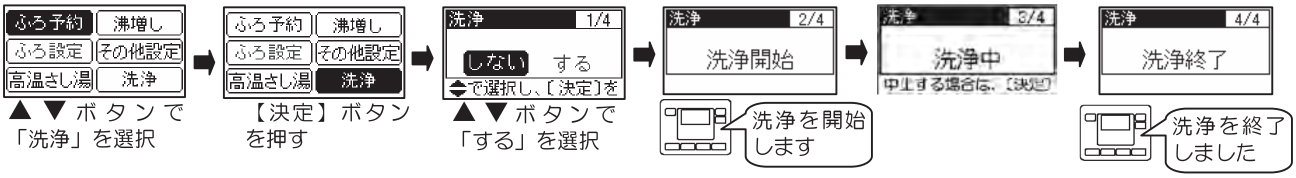
推奨洗浄剤
商品名：ジャバ（1 つ穴用）
発売元：ジョンソン株式会社

ふろ配管の洗浄を行うと、残湯量が少なくなります(タンク内の温度が下がります)。洗浄後、お湯を多く使用しないようなときに実施してください。

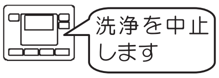
①入浴後、残り湯をふろ循環アダプター上端より 10cm 以上残しておきます。



②浴そうに洗浄剤を入れます。
　取扱については洗浄剤付属の説明書に従ってください。
③ふろリモコンの【メニュー】ボタンを押してメニュー画面を表示します。



・自動で約 10 分間、洗浄剤がふろ配管内を循環しふろ配管の洗浄を行います。
・その後、約 3 分間注水して配管内のすすぎを行います。
・途中で中止する場合は、【決定】ボタンを押します。



④洗浄が終了すると、画面表示と音声で終了をお知らせします。
　洗浄は、追焚き専用熱交換器も洗浄するので浴そうの温度は洗浄前より高くなります。
⑤浴そうの排水栓を開いて排水します。
⑥浴そうとふろ循環アダプターの掃除を行います。
　浴そう、ふろ循環アダプターには配管内の汚れや洗浄剤が付着しますので、必ず掃除をしてください。

■ 点検（有料）のおすすめ

本製品を長期間安心してお使いいただくために、3～4 年に 1 度、専門技術者による点検（有料）を行うことをおすすめします。
なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は 3～4 年に 1 回程度をおすすめします。
点検につきましては、販売店または工事店へご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

定期点検の主な項目

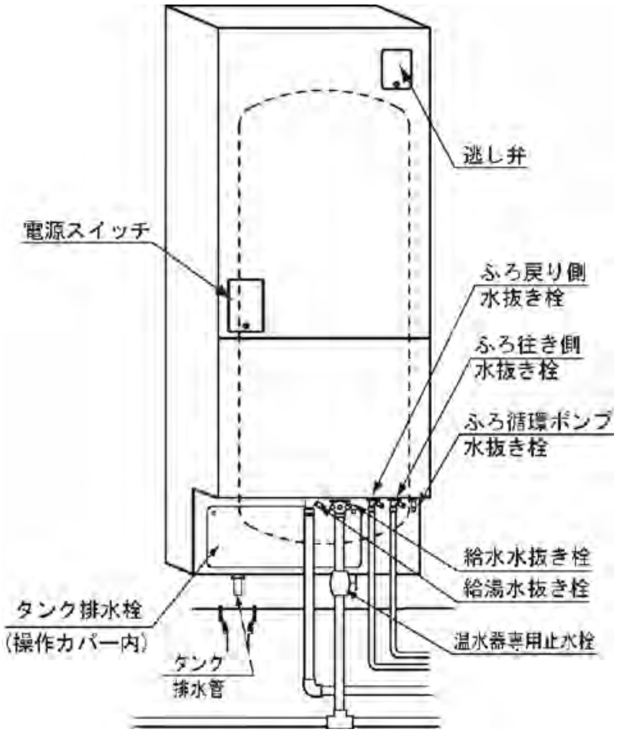
項　目	内　容
据付状態の点検	・設置状態の点検・配管接続部の水漏れ点検 ・配管、その他の保温状態の点検 ・電気絶縁の点検
機能部品の点検	・電気部品（配線、導通、動作の確認）の点検 ・弁類の点検（減圧弁、逃し弁）
清掃	・タンク内の清掃（沈殿物の除去など） ・給水継手のストレーナの清掃

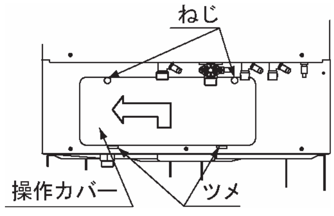
<消耗部品（有料）について>
逃し弁、減圧弁、パッキン類、電動混合弁、ゴムホース、循環ポンプ、循環調整弁、センサー類、水流スイッチ、電磁弁は、消耗部品です。上記部品の交換時は、当社純正部品と交換ください。

タンクの排水のしかた

タンクの排水のしかた

１か月以上使用しないときは、下記の手順に従って、タンクの排水を行ってください。
ふたたび使用するときは、タンクに給水をしてください。 P44





1 混合栓を開く

ぬるい水が出てくるまで開いておきます。
タンク排水時に熱湯が排水されることを防止します。

2 タンクの排水

① 漏電遮断器の電源スイッチ（2 ヶ所）を「切」にしてください。
② 温水器専用止水栓を閉じて、タンクへの給水を止めてください。
③ 逃し弁のレバーを上げてください。
④ タンク排水栓のカバーのねじ(2 本)をゆるめ、カバーのツメが抜けるまで上方へずらした後、排水栓のハンドルが見えるまでカバーをずらしてください。
※脚カバーを取り付けている場合、脚カバーのねじを外し、脚カバーを外す必要があります。
⑤ タンク排水栓を開いて、タンクの水を排水してください。排水口から水があふれないように排水栓の開き具合を調節してください。
排水には約 30 分～1 時間かかります。
⑥ 温水器の給水水抜き栓、給湯水抜き栓、ふろ往き水抜き栓、ふろ戻り水抜き栓、ふろ循環ポンプ水抜き栓を開いてください。

⚠ 警告

やけどのおそれあり
高温の湯を排水することがあります。

⚠ 注意

タンクのお湯の排水直後に、逃し弁のレバーを下げないでください。タンク内が負圧になり破損する原因となります。
逃し弁のレバーは、再度、温水器をご使用になるまで下げないでください。

3 排水のあとに

タンクのお湯を排水した後、1 時間程度放置してから、タンク排水栓および各水抜き栓を閉じてください。

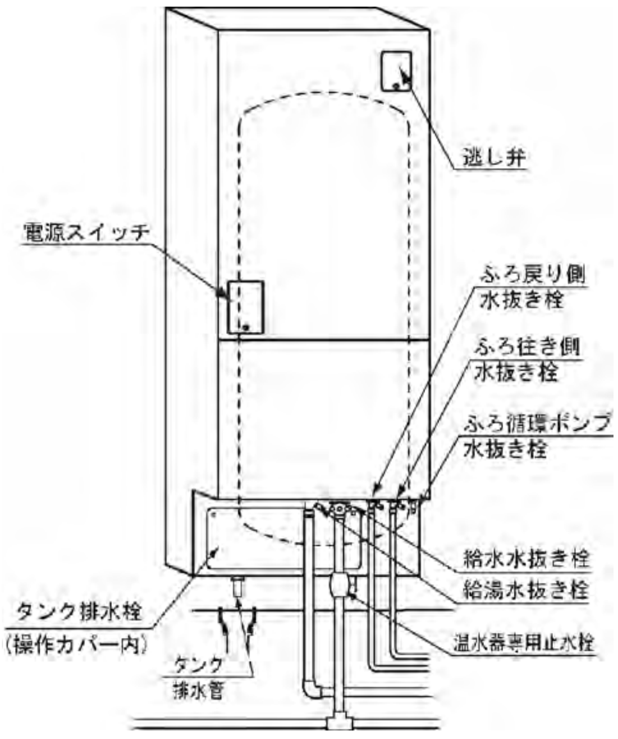
お願い

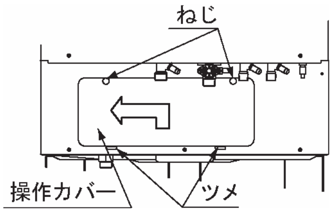
- 水抜き終了後、排水栓、各水抜き栓が閉まっていることを確認してください。
- 凍結するおそれの高い地域は、お買い上げの販売店、工事店に完全な水抜き作業を依頼してください。本ページの水抜き作業を行っても、配管の一部に水が残り、凍結を完全に防止することはできません。

タンクの給水のしかた

タンクの給水のしかた

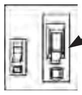
タンクの排水を行った場合、再度、温水器をご使用になるには、下記の手順に従って、タンクの給水を行ってください。





必ずタンクを満水にしてから通電する

・ヒーター用電源スイッチは、タンクが満水になるまで「入」にしないでください。タンクに水がない状態で通電すると、ヒーターが過熱して故障の原因になります。



※図は「切」の状態を示します。

1 給水のまえに

① 漏電遮断器の電源スイッチ（2 ヶ所）が「切」になっていることを確認してください。
「入」になっている場合は、電源スイッチを「切」にしてください。

② タンク排水栓および各水抜き栓が閉じていることを確認してください。

2 タンクを満水にする

① 逃し弁を開ける。

② 水道の元栓が開いていることを確認してください。

③ 温水器専用止水栓を開いて、タンクに水を入れてください。タンクが満水になると、タンク排水管から水が出ます。
満水まで約 30～50 分かかります。

④ タンクが満水になったら、逃し弁を閉じてください。水道の元栓、温水器専用止水栓は開いたままです。

3 電源を入れる

① 元電源ブレーカーが「入」になっていることを確認してください。

② 温水器の電源スイッチ（2 ヶ所）を「入」にしてください。

4 タンクを沸き上げる

① 現在の時刻、日付を設定してください。 P13

② 電力契約の設定を確認してください。（時間帯別電灯契約時） P13 P14

③ タンクの設定をしてください。 P15

④ 「沸き増し」の設定をしてください。タンクの沸き上げを開始します。（時間帯別電灯契約時）
深夜電力契約の場合、タンク全量が沸き上がるのは翌朝です。 P17

■点検記号が表示される場合

リモコンの時刻表示部に【Er04】または【Er10】が表示される場合は、タンクが満水になっていません。電源スイッチ（2 ヶ所）と元電源ブレーカーを「切」にして、再度、タンクの満水を確認してください。また、沸き上げ開始後、しばらくして「Er74」「Er75」が表示した場合、お買い上げの販売店に連絡ください。

停電のとき

停電復帰時、時刻がずれたり各リモコンの設定が変更されている場合がありますので、各リモコンの設定を確認してください。

- 停電復帰時のリモコンの設定は下記になります。
  ご使用の状態に合わせて再設定してください。

項　目		リモコン設定値	説明ページ
台所リモコン	時刻	時刻がずれている場合があります	13
	チャイルドロック	解除されている場合があります	21
	その他	停電前の設定	各ページ
ふろリモコン		停電前の設定	各ページ

- 夜間時間帯に再通電した場合は、すぐに沸き上げを開始します。
- ふろ湯張り中の場合、解除されます。
- **停電中は、給湯・ふろ機能とも使用できません。**

お願い

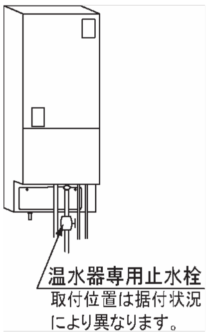
停電復帰時は、必ずリモコンの時刻を確認してください。

時刻が違っている場合は、時刻合わせをしてください。

時刻が正確でないと電気料金が割高になる場合があります。

断水のとき

断水のときは温水器専用止水栓を閉じてください。断水が回復したら、蛇口の水側を開き、水の汚れがなくなるまで十分水を出したのち温水器専用止水栓を開いてください。断水時に温水器専用止水栓が開いていると、断水回復時に水道管の汚れた水がタンクに流入するおそれがあります。



こんなときは故障ではありません

■ **タンク排水管からお湯が出ている**

沸き上げ中(リモコンに「沸上げ」を表示しているとき)は、タンク内の水がお湯になるときに膨張した分を排水します。正常な動作です。ただし、沸き上げ中でないときにお湯や水が出る場合は逃し弁の点検をしてください。

■ **夜間時間帯になっても、沸き上げを行わない**

給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐに沸き上げを行いません。深夜時間帯が終了する時刻に合わせて沸き上げを完了させます。(ピークシフト機能)

■ **インターホンを使用するとキーンという音がする**

リモコンの取り付け状態や場所により、キーンという大きな音(ハウリング)が発生することがあります。音量を標準または小に下げてご使用ください。

■ **インターホンが聞きとりにくい**

会話は、リモコンから 30cm くらい離れて行ってください。離れすぎ・近づきすぎ、声が大きいなどの場合、相手のリモコンで会話が途切れたり、音が割れて聞きとりにくい場合があります。
また、周囲の雑音(シャワーやテレビなど)が大きいと相手の話す声が途切れることがあります。

寒くなると

■ **ふろ循環アダプターからポンプの運転音がする**

外気温が低いときは、凍結防止のためポンプを運転して浴そうの残り湯を循環させるので音がします。
P39

お湯を使っているとき

■ **お湯から油がでる、お湯が臭い**

お買い上げ直後は、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

■ **お湯が白く濁って見える**

水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。

■ **設定温度のお湯がでない**

・混合栓から出るお湯は、配管材の放熱によって低くなることがあります。
・タンクのお湯の温度が設定した給湯温度より低い場合、設定温度のお湯はでません。湯切防止を設定してください。
P15 P17

おふろが・・・・・

■ **浴そうのお湯が青く見える**

光の波長や、浴そうの色によって浴そうのお湯が青く見えることがあります。また、配管(銅配管)から溶出したわずかな銅イオンが、石けん成分と反応して浴そうのふちや、洗面用具などが青くなることがありますが異常ではありません。

■ **ふろ循環アダプターから汚れが出る**

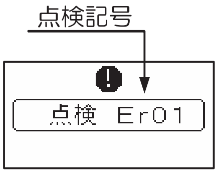
ふろ配管内に溜まった汚れを排出することがあります。年に２回はふろ配管の洗浄をしてください。
P42

■ **断続的に湯張りを行う**

・湯はり中は、温度や水位確認のため何度か湯張りを止めますが正常な動作です。

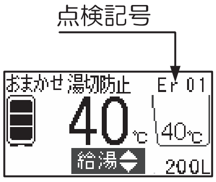
点検表示のみかたと処置

点検が必要な状況になった場合、リモコンに点検記号を表示します



〔点検要〕画面

点検が必要な状況になると左図のような点検を促す画面を台所リモコン、ふろリモコンに表示します。【メニュー】ボタンを押すと標準画面に復帰しますが、時刻表示部に引き続き点検記号が表示します。(右図)下表に基づき処置を施してください。



通常画面

■下記の点検記号が表示される場合は、処置をしてください。

点検記号	現象	原因	処置
Er 04 **Er 10**	タンクに水がない	温水器専用止水栓が閉じている。	温水器専用止水栓を開けてください。
		非常用水などでタンクのお湯を使用した。	タンクを満水にしてください。 P44
Er 15	ふろ湯張りができない。	温水器専用止水栓が閉じている。	温水器専用止水栓を開けてください。
		断水している。	断水が終わるまで待ってください。
C 23	ふろ湯張りができない。	浴そうの排水栓をしていない。	浴そうの排水栓をしてください。
		ふろ循環アダプターのフィルターが目づまりしている。	ふろ循環アダプターのフィルターを掃除してください。 P40
Er 23	自動運転中に足し湯ができない。	ふろ自動運転中に浴そうの排水栓を抜いた。	ふろ自動運転中に排水栓を抜かないでください。
		ふろ自動運転中に多量のお湯を使用した。	ふろ自動運転中は多量のお湯を使用しないでください。

点検記号 Er15，23、C23 に記載の処置を施した後は、【ふろ自動】ボタンを押してください。警告表示が消え、通常に使用できるようになります。なお、処置をしても点検記号が再度、表示される場合や該当する原因がない場合は、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。

■上記以外の点検記号が表示される場合は、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。

点検記号	処置
Er 01～03、Er 05～09 **Er 11～14、Er 16～22** **Er 24～76**	貯湯タンクユニット関係の点検が必要です。

故障かなと思ったら

こんなときは調べてみましょう

症　状	原　因	処　置
リモコンの表示部が消えている （電源が入らない）	200V 電源ブレーカーが「切」になっている	電源ブレーカーを「入」にしてください。 P11

症　状	原　因	処　置
リモコンの表示部が消えている（電源が入らない）	漏電遮断器の電源スイッチが「切」になっている	電源スイッチを「入」にしてください。再度「切」になる場合は、「切」のままお買い上げの販売店へご連絡ください。
	停電している	停電が終わるまで待ってください。
お湯が出ない お湯の出が悪い	温水器専用止水栓が閉じている	温水器専用止水栓を開いてください。 P11
	断水している／給水圧が低い	断水が終わるのを待ってください。
	配管が凍結している	お買い上げの販売店へご連絡ください。
お湯がぬるい お湯が足りない（残湯量の表示が消えている）	タンク休止の設定になっている。リモコンに「タンク休止」の表示がある）	・タンク休止を解除してください。 P37 ・沸き増しをしてください。 P17
	沸き上げ温度の設定が低い	沸き上げ温度の設定を高くしてください。 P15
	深夜時間帯にお湯をたくさん使用した	沸き増しをしてください。 P17 深夜時間帯に湯張りなど大量のお湯を使うと、翌朝、充分に沸き上がらないことがあります。湯切れ防止を設定してください。 P15
	いつもに比べてお湯をたくさん使用した	沸き増しをしてください。 P17 お湯をたくさん使う予定があるときは、前日に沸き上げ温度の設定を高くし、湯切れ防止の設定をしてください。 P15
湯張りができない	タンクにお湯がない（残湯量の表示が少ない）	残湯量の表示が２つ以上ないと湯張りが途中で止まることがあります。沸き増しを行ってから湯張りを行ってください。 P17 P19
追焚きができない	浴そうの湯が少ない	追焚きは、ふろ循環アダプター上端より 5cm 以上お湯があるときに使用できます。水位が低いときは、高温さし湯、足し湯を行ってください。 P29
	タンクのお湯の温度が低い（残湯量の表示はでている）	沸き増しをしてください。残湯量は約 45℃以上のお湯の量を表示しますが、追焚きはタンクのお湯と熱交換するためタンクの湯は約 60℃以上必要です。 P17
高温さし湯ができない	タンクのお湯の温度が低い（残湯量の表示はでている）	沸き増しをしてください。高温さし湯は、タンクに約 60℃以上のお湯が必要です。 P17
浴そうのお湯があつい	湯張り温度の設定が高い	湯張り湯温の設定を低くしてください。 P25 またはさし水をしてください。 P29
	追焚き中	追焚きを中止してください。 P28
浴そうのお湯がぬるい	湯張り湯温の設定が低い	湯張り湯温の設定を高くしてください。 P25 または追焚きをしてください。 P28
浴そうのお湯が少ない	湯張り水位の設定が低い	湯張り水位の設定を高くしてください。 P25 または足し湯をしてください。 P29
浴そうのお湯が多い	湯張り水位の設定が高い	湯張り水位の設定を低くしてください。 P25
台所リモコンで給湯温度の変更ができない	浴室優先が設定されている（リモコンに「浴室優先」が表示されている）	ふろリモコンで浴室優先を解除してください。 P20
ふろリモコンで温度の変更などボタン操作ができない	チャイルドロックが設定されている（台所リモコンに「チャイルドロック」が表示されている）	台所リモコンでチャイルドロックを解除してください。 P21
音声ガイドがでない	音声ガイド「切」の設定になっている	音声ガイドを「しんせつ」または「標準」の設定にしてください。 P33
	音量設定が「切」になっている	「切」以外の音量を設定してください。 P33
リモコンを操作しても、操作音がでない	音量設定が「切」になっている	「切」以外の音量を設定してください。 P33
タンク排水管から水が出ている	沸き上げ中に膨張水の排出を行っている	沸き上げ中は、タンク内の水の膨張水を排水します。通常一晩で 10L～20L 排水するのが正常です。
	逃し弁など弁類の故障です	逃し弁の点検を行なってください。 P41

仕様

		仕	様	
型式名		SBT-373KMZH	SBT-463KMZH	SBT-563KMZH
用途		戸建住宅、集合住宅用		
設置場所		屋外・屋内兼用タイプ		
外形寸法	高さ	1835mm	2165mm	2182mm
	幅	625mm		685mm
	奥行	730mm		790mm
電源	時間帯別電灯※1	単相 200V, 50/60Hz（ヒーター・制御用）		
	深夜電力※2	単相 200V, 50/60Hz（ヒーター用）		
	昼間電力※2	単相 200V, 50/60Hz（制御用）		
消費電力	ヒーター用	4.4kW	5.4kW	6.4kW
	制御用	約 95W(50Hz)/124W(60Hz)		
タンク容量		370L	460L	560L
沸き上げ温度		標準：約 90℃ ／ 控えめ：約 75℃ ／ おまかせ：約 75～90℃		
質量	製品	67 kg	78 kg	88 kg
	満水時	437 kg	538 kg	648 kg

※1 時間帯別電灯契約で運転する場合を示します。
※2 深夜電力契約（8 時間通電制御）で運転する場合を示します。

愛情点検 **長年ご使用の電気給湯機の点検を！**

こんな症状はありませんか？	症状		ご使用中止	対処
	• 本体設置場所がいつもぬれている • 時々漏電遮断器が『切』になる • お湯が早くなくなる その他の異常や故障がある	▶		故障や事故防止のため、電源ブレーカーを切り、給水配管専用止水栓を閉じてから、販売店に点検をご相談ください。

保証とアフターサービス

■ 保証書（同梱）

- 製品には保証書が同梱されています。
  必ず「販売店（工事店）・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みのうえ保管してください。
- 修理・点検を依頼されるときは、販売店（工事店）にお電話ください。
- 保証期間は、同梱されている保証書をご確認ください。
- 保証期間内であれば、保証書の記載内容に基づき修理いたします。
  保証期間が過ぎても、修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

- この機器の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低 10 年保有しています。
  なお、補修用性能部品とは、製品の機能を維持するための部品です。

■ 点検・修理を依頼されるとき

- 点検・修理を依頼される前に４７，４８ページの「故障かなと思ったら」を見て、もう一度ご確認ください。
  確認のうえ、それでも不具合がある場合や不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、販売店（工事店）にご連絡ください。
- 点検・修理をお申しつけのときは、次のことをお知らせください。

  ① 型式（電気温水器に貼ってある銘板で確認）
  ② 不具合現象の内容
  ③ 取付年月日
  ④ お名前・住所・電話番号
  ⑤ お宅までの道順

点検依頼連絡先

店　名

連絡先　ＴＥＬ

販売店（工事店）に必ず記入してもらってください。

販　売　四電エナジーサービス株式会社

フリーダイヤル 0120-126-459（いーふろ しこく）

本　　店	〒760-0050	高松市亀井町1-3（鹿島四国支店ビル3F）	(087)835-0551
徳島支店	〒770-0862	徳島市城東町2丁目123番地	(088)653-5881
高知支店	〒780-0870	高知市本町4丁目1-16（高知電気ビル本館3F）	(088)824-3802
愛媛支店	〒790-0951	松山市天山1丁目2-26（松山第3電気ビル）	(089)945-6227
新居浜支店	〒792-0864	新居浜市東雲町2-12-46	(0897)33-0671
香川支店	〒761-8075	高松市多肥下町434-1	(087)814-9155
多度津支店	〒764-0017	香川県仲多度郡多度津町西港町90番地1	(0877)32-2121

製　造　四変テック株式会社

フリーダイヤル 0120-4591-26（しこくいちのふろ）

〒764-8507　香川県仲多度郡多度津町桜川2丁目1-97　(0877)33-1212（代）